

令和3年度老人保健事業推進費等補助金  
老人保健健康増進等事業

# 介護事業者(介護職)の現場での 課題対応力強化に向けた調査研究事業

---

## 報告書 【概要版】

令和4年6月

## 調査研究の目的

- 令和３年度介護報酬改定に関する審議報告においては、介護サービス共通にて取り組むべき重点課題として、「感染症や災害への対応力強化」、地域包括ケアシステムの推進として「認知症への対応力向上に向けた取組の推進」「看取りへの対応の充実」「医療と介護の連携の推進」、また「自立支援・重度化防止の取組の充実」といった項目が掲げられ、介護現場において対応力強化の取り組みが求められている。
- そこで本事業では、全国の介護事業所・施設及び自治体（都道府県）に対して、介護現場での課題対応力強化に向けた取り組み実態や課題を調査し、取り組みを推進するための支援のあり方についての検討材料を得る。
- また、取り組むべき重点課題として掲げられる項目につき、介護キャリア段位制度を用いた資質向上の記録データを分析し、課題対応力強化に向けた効果的・効率的な取り組みの方法を探るとともに、介護人材の質向上に向けた議論に資する関係データを提示する。
- 本事業を通じて、介護現場での課題対応力向上に寄与する要素や育成システムについて整理検討し、介護人材の質向上に向けた議論に資する関係データを提示する。また、介護キャリア段位制度について、活用の実態と課題を調査し、対応策を検討する。

## 事業構成

### ● 介護現場における課題対応力強化に向けた取り組みに関する調査

- 介護事業所アンケート調査の実施 他（事業報告書第Ⅱ章）
- 都道府県アンケート調査の実施 他（事業報告書第Ⅳ章）
- 介護職員における課題対応力強化に向けた取り組みに関する調査・データ分析 他（事業報告書 第Ⅲ章）

## 調査実施概要

### ● 介護事業所における介護現場における課題対応力強化に向けた取り組みに関する調査

**調査方法** W E B アンケート（公益社団法人 全国老人福祉施設協議会(会員数：約12,000)、公益社団法人 全国老人保健施設協会（会員数：約3,600）、民間介護事業推進委員会（会員数：約4,400）の3団体に調査協力を依頼し、各団体より所属会員にWEBアンケートURLを通知した。）

#### 調査内容

| 項目                            | 主な設問項目            |
|-------------------------------|-------------------|
| 課題対応力強化に向けた取り組み状況             | OFF-JT、OJTの実施方法 他 |
| 課題対応力強化に向けた研修指導体制             | 研修指導体制、育成方針、学習の機会 |
| 課題対応力強化に向けた取り組みの課題            | OFF-JT、OJTの課題 他   |
| 介護キャリア段位制度を活用した課題対応力強化の取り組み状況 |                   |

**調査期間** 令和4年1月24日（月）～令和4年2月22日（火）

**回収数** 995事業所

### ● 都道府県における課題対応力強化に向けた取り組みに関する調査

**調査方法** W E B アンケート（厚生労働省老健局より47都道府県の介護人材育成担当にW E B アンケートU R Lを通知した。）

#### 調査内容

| 項目                            | 主な設問項目                 |
|-------------------------------|------------------------|
| 課題対応力強化に向けた取り組み状況             | 課題対応力強化に向けての研修の実施や計画 他 |
| 課題対応力強化に向けた有効的な方策             | 事業所内での継続的な人材育成の必要性 他   |
| 介護キャリア段位制度を活用した課題対応力強化の取り組み状況 |                        |

**調査期間** 令和4年2月16日（水）～令和4年3月11日（金）

**回収数** 47都道府県

### ● 介護職員における課題対応力強化に向けた取り組みに関する調査・データ分析

- ・ 課題対応力強化の取り組み前における資質実態データ分析
- ・ 課題対応力強化の取り組みによる介護職員の行動・意識変化分析 他

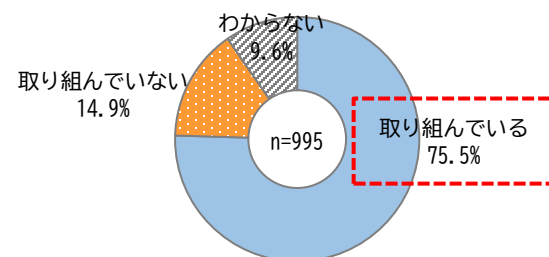
# 介護事業所における介護現場における課題対応力強化に向けた取り組みに関する調査

## 課題対応力強化に向けた取り組み状況

- 75.5%の事業所が「課題対応力強化の育成に取り組んでいる」との回答であった。
- 具体的なには、対応力強化に向けた育成手法として、「職員をOff-JTに参加させている」が66.6%、次いで「事業所内でのOJT」が64.3%との回答であった。
- 育成の対象はOff-JTでは、入職年数層別で見ると各層に対して70%以上の実施となっているが、OJTについては、入職2~3年目職員に対しては63.2%、入職10年目職員に対しては40.0%と、年数を経過するほど実施率が下がる傾向であった。

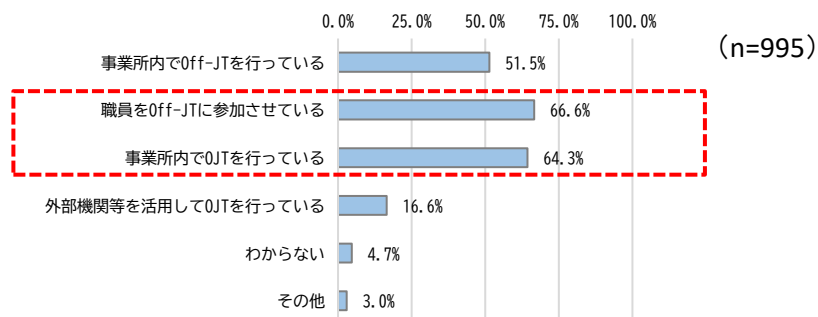
## ■課題対応力強化に向けた育成の取り組み状況

Q. 介護職員に対して介護現場で求められる課題対応力強化に向けた育成に取り組んでいますか。

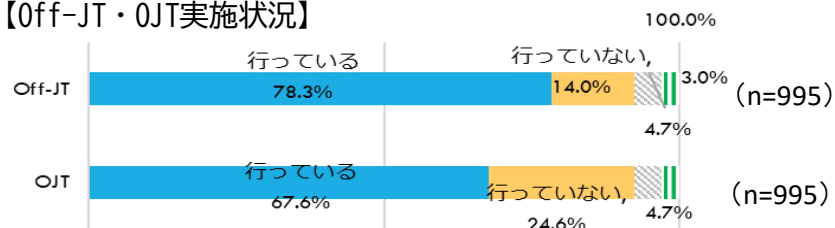


## ■課題対応力強化に向けた育成手法

Q. 介護職員の課題対応力強化に向けて、どのような育成手法を用いていますか。

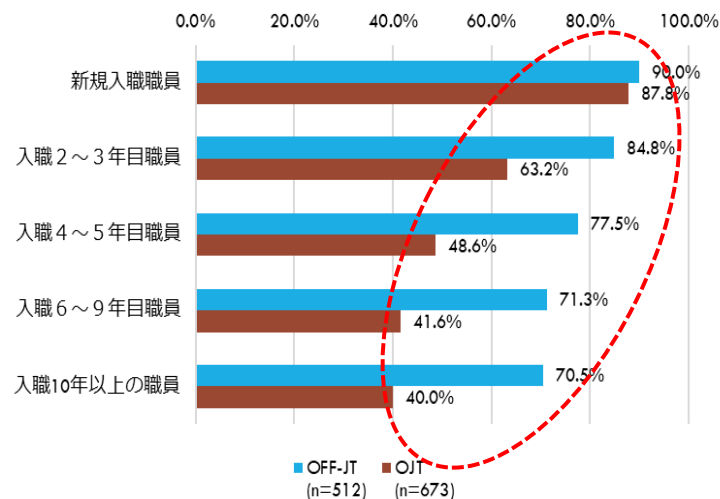


### 【Off-JT・OJT実施状況】



## ■課題対応力強化に向けた育成の対象（入職年数層別）

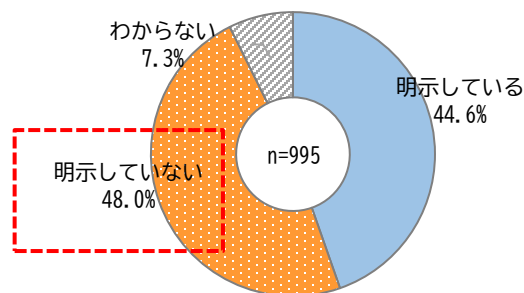
Q. 課題対応力強化に向けたOff-JT/OJTは、どの職員層（入職年数層）を対象に行っていますか。



- 事業所の課題対応力強化への取り組み認識と比べて、育成体制の整備状況は下回る結果であった。
- 課題対応力強化に向けた取り組みとして、職員のどのような事項の強化をはかっていくか、スキルアップの道筋を明示しているかについては、明示していない事業所のほうが多く、48.0%であった。
- 課題対応力強化に向け、職員ごとの育成計画を策定していない事業者は63.9%にのぼり、合わせて研修指導の指導完了の判断基準として、評価基準を用いていない事業所は57.6%、指導完了の判断を評価者（他者）による評価を行っていない事業所は51.9%と、いずれも半数を超えている。
- どのようなスキルを、どのような期間をかけて育成していくのか、育成の際の評価基準の整備し、スキルが身についたかどうかを他者により確認するといった、育成体制を組む事業所は限られており、全体の半数以上の事業所では、体制整備はされていない結果であった。

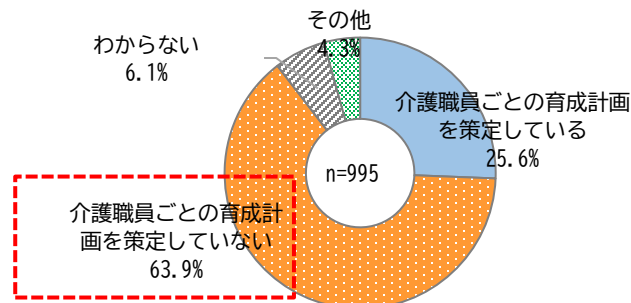
### ■対応力強化項目の明示状況

Q. 研修指導にあたり、介護職員のスキルアップの道筋を明示していますか。



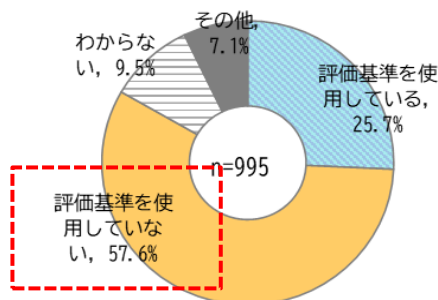
### ■対応力強化育成計画策定状況

Q. 研修指導にあたり、介護職員ごとの育成計画を策定していますか



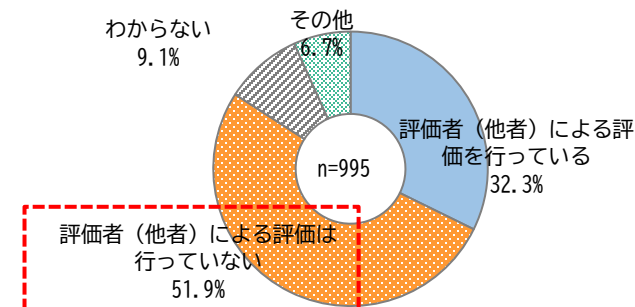
### ■研修指導にあたっての評価基準の使用

Q. 指導完了（終了）の判断を行う評価の際は、どのような評価基準を用いていますか。



### ■対応力強化結果確認状況

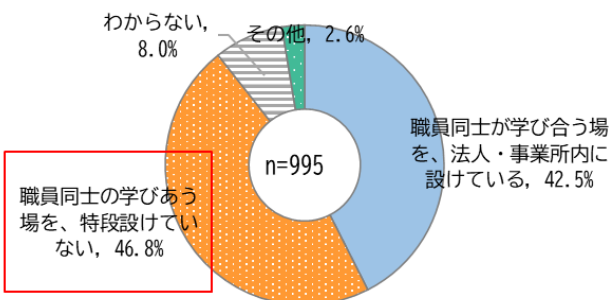
Q. OJTでは指導完了（終了）の判断をどのようにしていますか。



- 職場学習の機会として、職員同士によるQOL向上にむけた学習の機会を「設けていない」事業所は46.8%、経験年数を重ねた職員に対する学び直し・鍛え直しの機会を「設けていない」事業所は49.3%と半数近くにのぼっている。
- 職員の仕事の幅を広げていくことを目的としたジョブローテーションを「実施していない」事業所は39.0%と約4割となり、他の事業所のケアを見たり比較する機会を「設けていない」事業所は78.5%と、約8割は他の事業所のケアを見る機会がない。
- 半数近くの事業所では、現場での課題を受けての勉強会を設けたり、学び直しといった機会は設けておらず、仕事の幅を広げていけるような成長の機会を意図的に組み込んだ取り組みには至っていない。また他事業所との比較といった、日ごろの対応を客観視し学ぶ機会、職員が「成長していく機会」を意図的に業務の場に組み込んでいない。

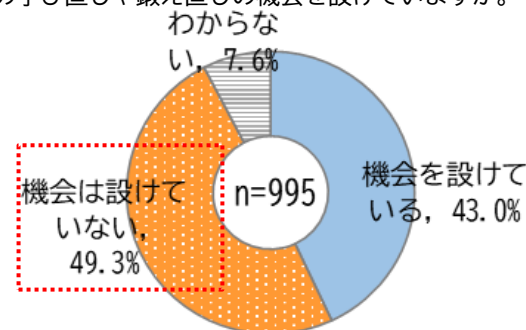
## ■介護現場の課題に対するQOL向上に向けた勉強の場の設置

Q. 職員同士が介護現場の課題に対してQOL向上に向けて勉強する場、学び合いの場を設けていますか。



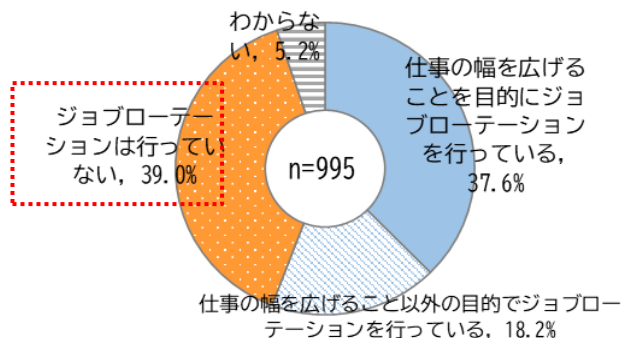
## ■介護の対応の学び直しや鍛え直しの機会

Q. 研修指導にあたり、経験年数のある程度重ねた介護職員に、介護の対応の学び直しや鍛え直しの機会を設けていますか。



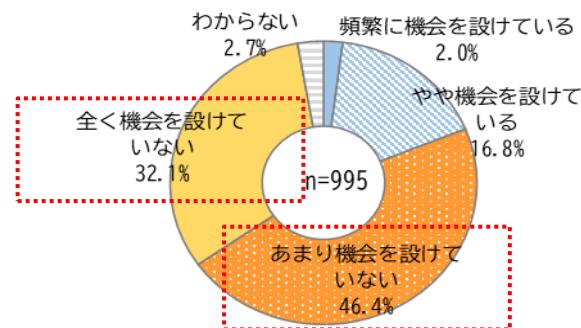
## ■仕事の幅を広げていくことを目的としたジョブローテーション実施

Q. 研修指導にあたり、介護職員が仕事の幅を広げていくことを目的に、ジョブローテーション（シフト調整や業務調整）を行っていますか。



## ■他事業所の介護職員による介護の確認、比較実施状況

Q. 研修指導にあたり、他事業所の介護職員がどのような介護を行っているのか見たり、比較したりしていますか。

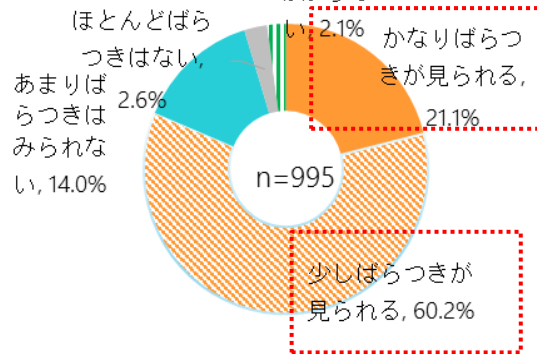




- 基本的な介護技術であっても81.3%と8割以上の事業所において、経験年数を重ねた介護職員間に介護技術のばらつきがみられるとなっており、根拠に基づく指導ができていない事業所は4割を超えている。
- 一方で、7割を超える事業所について他者評価の機会やOJT実施に向けた研修の義務化が必要であるとの認識となっている。
- 課題対応力強化の取り組みの必要性を認識しつつも、Off-JT、OJTの実施に関する課題として、「職員の学習時間の確保が難しい」「関わる職員の負担が大きい」とする事業所が半数近くを占め、課題対応力強化の取り組み実施体制の構築に苦慮していることが伺える。

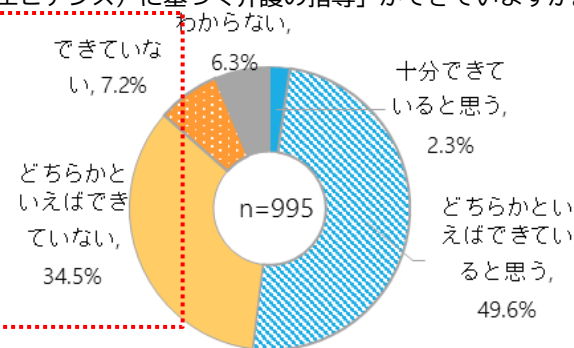
### ■経験年数を重ねた介護職員の基本的な介護技術のばらつき

Q. 経験年数を重ねた介護職員間において、基本的な介護技術にばらつきがみられますか。



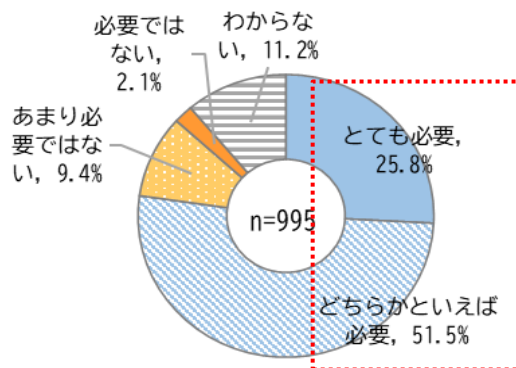
### ■根拠に基づく介護の指導について

Q. 基本的な介護技術の指導において、指導者の自己流や主観ではなく、「根拠（エビデンス）」に基づく介護の指導ができていますか。



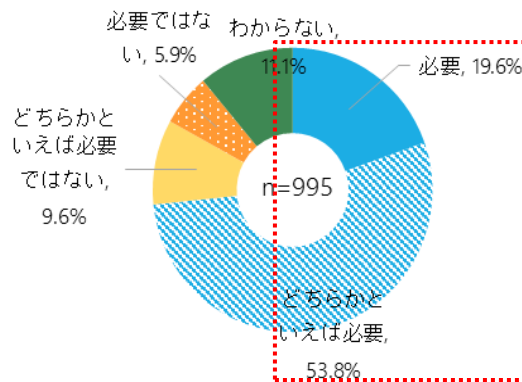
### ■他者評価の仕組みの必要性

Q. 介護現場で求められる課題対応力強化を行う上で他者による評価の仕組みは必要と思われるですか。



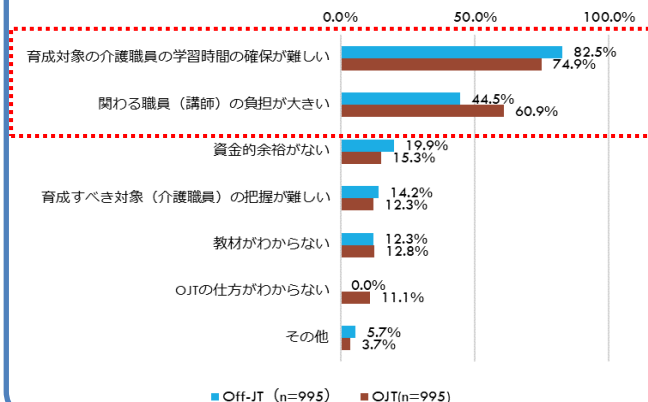
### ■OJT実施に向けた研修について

Q. 課題対応力強化に向けたOJTに向けた研修の義務化は必要と思われるですか。



### ■Off-JT/OJTの課題

Q. 課題対応力強化に向けたOff-JT/OJTに関する課題はありますか。

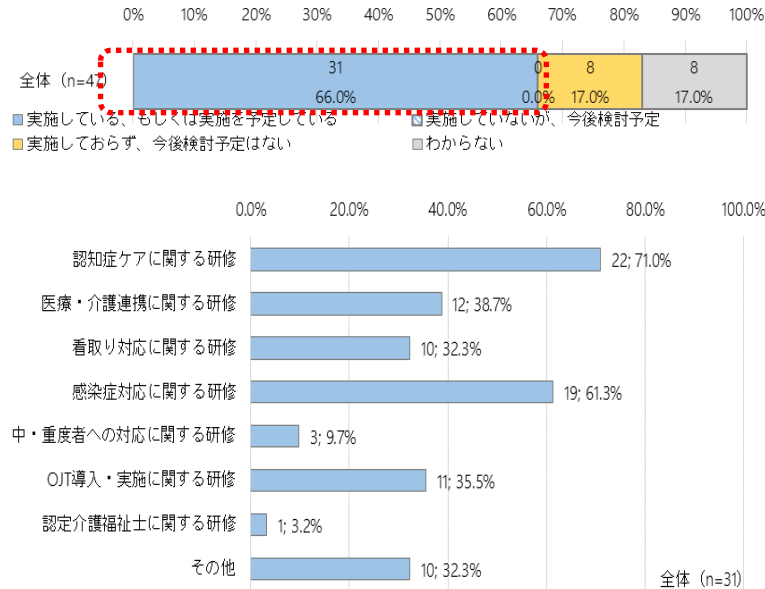


# 都道府県における課題対応力強化の取り組みに関する調査

課題対応力強化に向けた  
取り組み状況

- 令和3年度介護報酬改定の審議報告で示される重点課題に対して、対応力強化を目的とした新たな研修を実施・計画している自治体は、31県（66%）との回答であった。内訳は、「認知症ケアに関する研修」が22県であり、次いで「感染症対応に関する研修」が19県であった。
- 課題対応力強化を目的とした、スキルアップ・学習の仕組み作りの支援としては、県の「事業所質評価・認証制度の推進」が最も多く（22県）、次いで「介護福祉士有資格者への学び直し・学習、スキルアップ支援」（14県）であった。
- 学び直しの支援として、現在業務に従事している介護福祉士に対する支援を行っている県は6県にとどまり、潜在介護福祉士の復職支援については8県となっている。現職で介護に従事している介護福祉士に対する課題対応力強化を目的とした支援はあまり浸透していない。

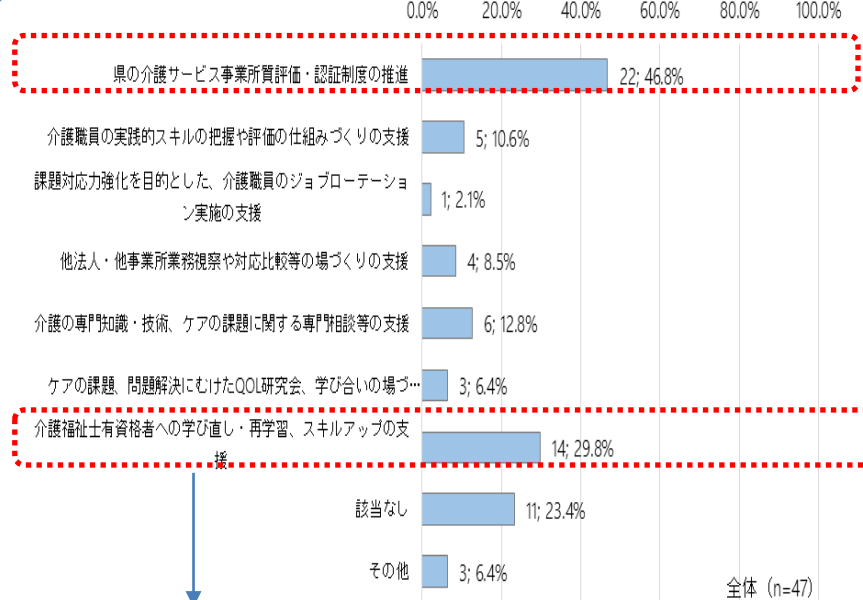
## ■ 課題対応力強化を目的とした、新たな研修の実施や計画の有無



### その他

- 中堅管理者向け労務研修（1県）
- 高齢者虐待対応研修（3県）
- 階層別研修 専門家派遣（1県）
- チームリーダー研修（1県）
- 自立支援・重度化防止研修（1県）
- 各事業所で課題を選定し実施する研修（1県）
- ハラスメント対応等（1県）

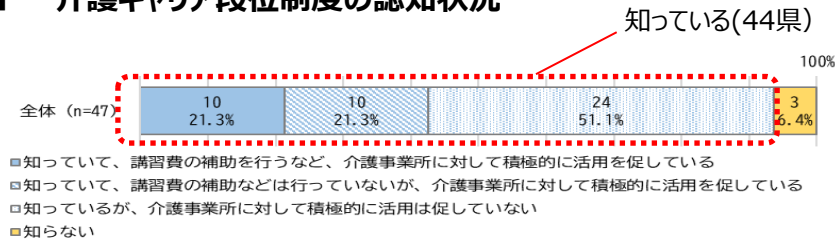
## ■ 課題対応力強化を目的としたスキルアップ・学習の仕組み作り等の取り組み



- 認定介護福祉士養成研修の実施（1県）
  - チームリーダー養成研修（2県）
  - 県介護福祉士会が実施する研修への助成支援（1県）
  - 職場研修サポート事業（1県）
  - 介護福祉士に限定しない、基礎的技術の向上・再習得、最新介護技術の習得、医療的ケアに関する研修（1県）
- ※ 回答のうち8県は、潜在介護福祉士の再就職支援に該当

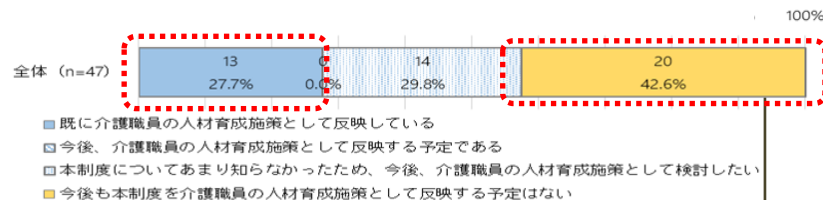


### ■ 介護キャリア段位制度の認知状況



- 介護キャリア段位制度の認知状況については、44県が「知っている」との回答であるが、介護キャリア段位制度を人材育成施策として反映させている自治体は13県であり、「人材育成施策への反映予定はない」が20県である。
- 具体的には、県の事業所質評価・認証制度において、介護キャリア段位制度と連動させている自治体は5県、介護キャリア段位制度のアセッサー講習受講支援事業の施策としての設定を行っているところは14県である。
- 介護キャリア段位制度を現場の課題対応力強化支援に結び付けて活用している自治体は、限られているのが実態である。

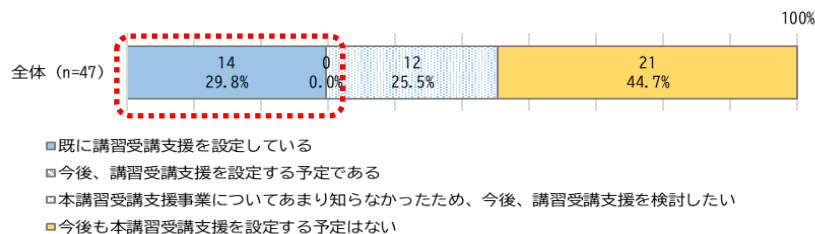
### ■ 介護キャリア段位制度の介護職員の人材育成施策への反映



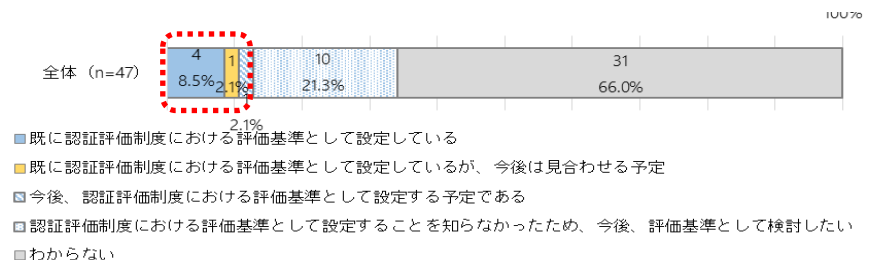
#### 反映の予定がない理由

- ・ 他の施策で支援している
- ・ 介護事業所等からの具体的な要望・ニーズがない
- ・ 既存の資格との関係性や、明確な位置付けが必要 等

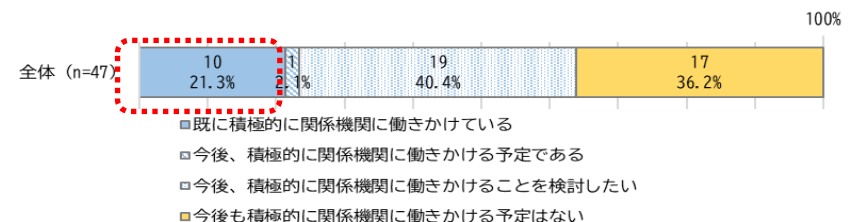
### ■ 介護キャリア段位におけるアセッサー講習受講支援事業の施策としての設定



### ■ 介護キャリア段位制度の介護サービス事業所認証・評価制度における評価項目としての設定



### ■ 介護キャリア段位制度の導入や活用の積極的な働きかけ



# 都道府県における課題対応力強化の取り組みに関する調査

## 課題対応力強化に向けた 取り組み状況

### ■ 都道府県アンケート及び 各県の第8期介護保険事業支援 計画調査結果整理 ①

- 課題対応力強化を目的とした取り組みとして、OJT導入支援の研修を実施（または予定）している県は11県である。
- 課題対応力強化に向けた学習の仕組み作りとして、職員の実践的スキルの把握・評価の仕組み作りの支援をしている県は5県である。
- 第8期介護保険事業支援計画に、方針として介護事業所の「OJT推進」を明示しているところは2県に留まる。
- 介護保険事業支援計画（第8期）の記載内容は、人材確保として量的確保を重視する傾向となっており、介護職員の課題対応力強化に向けた質的向上の具体的な方策を明示していないものが大半を占めている。

●印：都道府県アンケートにて、現場の課題対応力強化に向け「実施している」との回答県。介護保険事業支援計画（第8期）において、介護職員のOJT推進を明記している県。

令和3年度 介護事業者（介護職）の現場の課題対応力強化に向けた調査研究事業

|    |     | 事業所<br>質評価<br>認証制<br>度の推<br>進 | 実践的<br>スキル<br>把握・<br>評価の<br>仕組み<br>づくり | 他事業<br>所の対<br>応比較<br>の場づ<br>くり | 学び合<br>いの場<br>づくり | 現職の<br>介護福<br>社士の<br>スキル<br>アップ<br>支援 | OJT導<br>入実<br>施に関<br>する研<br>修 | 介護キ<br>ャリア<br>段位制<br>度の人<br>材育成<br>施策へ<br>の反映 | 第8期介護保険事業支援計画の記載内容      |                                     |                                           |
|----|-----|-------------------------------|----------------------------------------|--------------------------------|-------------------|---------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------------------|-------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------------|
|    |     |                               |                                        |                                |                   |                                       |                               |                                               | OJ<br>T推<br>進<br>明<br>記 | 介護キ<br>ャリア<br>段位制<br>度活用<br>の目<br>的 | 課題対応力強化の方策：<br>備考                         |
| 1  | 北海道 |                               |                                        |                                |                   |                                       | ●                             |                                               |                         |                                     |                                           |
| 2  | 青森県 | ●                             |                                        |                                |                   |                                       |                               | ●                                             |                         |                                     |                                           |
| 3  | 岩手県 | ●                             |                                        |                                |                   |                                       |                               | ●                                             |                         | キャリアパス構築                            |                                           |
| 4  | 宮城県 | ●                             |                                        |                                |                   |                                       |                               |                                               |                         |                                     |                                           |
| 5  | 秋田県 | ●                             |                                        |                                |                   |                                       | ●                             |                                               |                         |                                     | 現場の課題に即した研修の実施                            |
| 6  | 山形県 | ●                             |                                        |                                |                   |                                       |                               | ●                                             |                         |                                     |                                           |
| 7  | 福島県 |                               |                                        |                                |                   |                                       |                               |                                               |                         |                                     |                                           |
| 8  | 茨城県 |                               |                                        |                                |                   |                                       |                               |                                               |                         |                                     |                                           |
| 9  | 栃木県 | ●                             |                                        | ●                              |                   |                                       |                               | ●                                             |                         |                                     |                                           |
| 10 | 群馬県 | ●                             | ●                                      |                                |                   | ●                                     |                               |                                               |                         |                                     |                                           |
| 11 | 埼玉県 | ●                             |                                        |                                |                   |                                       |                               |                                               |                         |                                     |                                           |
| 12 | 千葉県 |                               |                                        |                                |                   |                                       |                               |                                               |                         |                                     |                                           |
| 13 | 東京都 |                               | ●                                      |                                |                   |                                       | ●                             | ●                                             |                         | キャリアパス導入                            | 事業所の人材育成、スキルアップ支援、職場課題の解決改善に取り組む市区町村を支援する |
| 14 | 神奈川 | ●                             |                                        |                                |                   | ●                                     | ●                             |                                               |                         |                                     |                                           |
| 15 | 新潟県 | ●                             | ●                                      |                                |                   |                                       |                               |                                               |                         |                                     |                                           |
| 16 | 富山県 |                               |                                        | ●                              | ●                 |                                       |                               | ●                                             |                         |                                     | 事業所内教育・研修体制の充実を図る                         |
| 17 | 石川県 | ●                             | ●                                      |                                |                   |                                       | ●                             |                                               |                         |                                     | 職員間の切磋琢磨によるスキルアップ：知識・技術コンテストの開催           |
| 18 | 福井県 | ●                             |                                        |                                |                   |                                       |                               |                                               |                         |                                     |                                           |
| 19 | 山梨県 | ●                             |                                        |                                |                   |                                       |                               |                                               |                         |                                     |                                           |
| 20 | 長野県 | ●                             | ●                                      | ●                              | ●                 |                                       | ●                             | ●                                             |                         |                                     | 県版キャリアパスモデルの推進。（介護キャリア段位制度の要素を組み込んだものを設計） |
| 21 | 岐阜県 | ●                             |                                        |                                |                   |                                       |                               | ●                                             |                         |                                     |                                           |
| 22 | 静岡県 | ●                             |                                        |                                |                   | ●                                     |                               |                                               |                         |                                     | 事業所への人材マネジメント等専門家講師派遣                     |
| 23 | 愛知県 |                               |                                        |                                |                   |                                       |                               | ●                                             |                         |                                     |                                           |
| 24 | 三重県 |                               |                                        |                                |                   |                                       |                               |                                               |                         |                                     |                                           |

## 都道府県における課題対応力強化の取り組みに関する調査

## 課題対応力強化に向けた取り組み状況

■ 都道府県アンケート及び  
各県の第8期介護保険事業支援  
計画調査結果整理 ②

- 都道府県アンケート結果および第8期介護保険事業支援計画の記載内容からは、介護キャリア段位制度は、キャリアパス構築の仕組みであるとの認識に留まっており、介護職員の課題対応力強化や、事業所に学習（OJT）を根付かせていく仕組みとの認識までには至っていない。

|    |     | 事業所<br>質評価<br>認証制<br>度の推<br>進 | 実践的<br>スキル<br>把握・<br>評価の<br>仕組み<br>づくり | 他事業<br>所の対<br>応比較<br>の場づ<br>くり | 学び<br>合いの<br>場づ<br>くり | 現職の<br>福祉士<br>のスキル<br>アップ支<br>援 | OJT<br>導入<br>実施に<br>関する<br>研修 | 介護キ<br>ャリア<br>段位<br>制度の<br>人材育<br>成施策<br>への反<br>映 | 第8期介護保険事業支援計画の記載内容  |                                     |                                                       |
|----|-----|-------------------------------|----------------------------------------|--------------------------------|-----------------------|---------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------------------|---------------------|-------------------------------------|-------------------------------------------------------|
|    |     |                               |                                        |                                |                       |                                 |                               |                                                   | OJT推<br>進<br>明<br>記 | 介護キ<br>ャリア<br>段位<br>制度活<br>用の<br>目的 | 課題対応力強化の方策：<br>備考                                     |
| 25 | 滋賀県 |                               |                                        |                                |                       | ●                               |                               |                                                   |                     | 勤続年数に応じたキャリア形成と処遇の改善                | チームリーダー養成/多職種連携のマネジメントができる介護職員の養成/地域の多職種連携ネットワークへの参画他 |
| 26 | 京都府 | ●                             |                                        | ●                              |                       |                                 | ●                             |                                                   |                     | 人材育成に向けた取り組み                        |                                                       |
| 27 | 大阪府 |                               |                                        |                                |                       |                                 |                               |                                                   |                     |                                     |                                                       |
| 28 | 兵庫県 |                               |                                        |                                |                       |                                 | ●                             | ●                                                 |                     | 職員能力の適正評価、資質向上、処遇改善につながる仕組み作り       |                                                       |
| 29 | 奈良県 |                               |                                        |                                |                       |                                 |                               |                                                   |                     |                                     |                                                       |
| 30 | 和歌山 |                               |                                        |                                |                       |                                 |                               |                                                   |                     |                                     |                                                       |
| 31 | 鳥取県 | ●                             |                                        |                                |                       |                                 |                               |                                                   | ●                   | 介護職員の資質向上とOJTの推進                    |                                                       |
| 32 | 島根県 |                               |                                        |                                |                       | ●                               |                               |                                                   |                     |                                     | 職場内研修体制構築に向けた支援                                       |
| 33 | 岡山県 |                               |                                        |                                |                       |                                 |                               |                                                   |                     |                                     |                                                       |
| 34 | 広島県 | ●                             |                                        |                                |                       |                                 |                               |                                                   |                     |                                     |                                                       |
| 35 | 山口県 |                               |                                        |                                |                       |                                 |                               |                                                   |                     |                                     | 生涯を通じた研修体系構築                                          |
| 36 | 徳島県 |                               |                                        |                                |                       |                                 |                               |                                                   |                     |                                     |                                                       |
| 37 | 香川県 |                               |                                        |                                |                       |                                 |                               | ●                                                 |                     |                                     |                                                       |
| 38 | 愛媛県 |                               |                                        |                                |                       |                                 |                               |                                                   |                     |                                     |                                                       |
| 39 | 高知県 | ●                             |                                        |                                |                       |                                 | ●                             |                                                   |                     |                                     |                                                       |
| 40 | 福岡県 |                               |                                        |                                |                       |                                 |                               |                                                   |                     |                                     |                                                       |
| 41 | 佐賀県 |                               |                                        |                                |                       |                                 | ●                             |                                                   |                     |                                     |                                                       |
| 42 | 長崎県 | ●                             |                                        |                                |                       |                                 |                               | ●                                                 |                     |                                     |                                                       |
| 43 | 熊本県 |                               |                                        |                                | ●                     |                                 |                               |                                                   |                     |                                     |                                                       |
| 44 | 大分県 | ●                             |                                        |                                |                       |                                 | ●                             | ●                                                 | ●                   | キャリアアップの仕組みの構築                      |                                                       |
| 45 | 宮崎県 |                               |                                        |                                |                       | ●                               |                               |                                                   |                     |                                     |                                                       |
| 46 | 鹿児島 |                               |                                        |                                |                       |                                 |                               |                                                   |                     |                                     |                                                       |
| 47 | 沖縄県 |                               |                                        |                                |                       |                                 |                               |                                                   |                     |                                     |                                                       |

●印：都道府県アンケートにて、現場の課題対応力強化に向け「実施している」との回答。介護保険事業支援計画（第8期）において、介護職員のOJT推進を明記している県。

令和3年度 介護事業者（介護職）の現場での課題対応力強化に向けた調査研究事業

## 介護キャリア段位制度の評価項目の構成

### ■介護サービス共通にて取り組むべき重点課題

#### 令和3年度介護報酬改定に関する審議報告の概要

新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で「**感染症や災害への対応力強化**」を図るとともに、団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年に向けて、2040年も見据えながら、「**地域包括ケアシステムの推進**」、「**自立支援・重度化防止の取組の推進**」、「**介護人材の確保・介護現場の革新**」、「**制度の安定性・持続可能性の確保**」を図る。

#### 1. 感染症や災害への対応力強化

※各事項は主なもの

■感染症や災害が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制を構築

- 日頃からの備えと業務継続に向けた取組の推進
  - ・感染症対策の強化
  - ・業務継続に向けた取組の強化
  - ・災害への地域と連携した対応の強化
  - ・通所介護等の事業所規模別の報酬等に関する対応

#### 2. 地域包括ケアシステムの推進

#### 3. 自立支援・重度化防止の取組の推進

■住み慣れた地域において、利用者の尊厳を保持しつつ、必要なサービスが切れ目なく提供されるよう取組を推進

- 認知症への対応力向上に向けた取組の推進
  - ・認知症対応型共同生活介護（認知症ケア型）の整備
  - ・認知症対応型共同生活介護（認知症ケア型）の整備
  - ・認知症対応型共同生活介護（認知症ケア型）の整備
- 看取りへの対応の充実
  - ・在宅での看取りの取組の推進
  - ・施設等における評価の充実
- 医療と介護の連携の推進
  - ・老老施設の医療・介護への対応強化
  - ・訪問看護や訪問入浴の充実
  - ・緊急時の宿泊対応の充実
  - ・個室への定員上限の明確化
- 在宅サービス、介護保険施設や高齢者住まいの機能・対応強化
  - ・訪問看護や訪問入浴の充実
  - ・緊急時の宿泊対応の充実
  - ・個室への定員上限の明確化
- ケアマネジメントの質の向上と公正中立性の確保
  - ・事務の効率化による通達制の緩和
  - ・医療機関との情報連携強化
  - ・介護予防支援の充実
- 地域の特性に応じたサービスの確保
  - ・過疎地域等への対応（地方分権提案）

■制度の目的に沿って、質の評価やデータ活用を行いながら、科学的に効果が裏付けられた質の高いサービスの提供を推進

- リハビリテーション・機能訓練・口腔・栄養の取組の連携・強化
  - ・計画作成や多職種間会議でのリハ、口腔、栄養専門職の関与の明確化
  - ・リハビリテーションマネジメントの強化
  - ・退院退所直後のリハの充実
  - ・通所介護や特設等における一部のリハ専門職等との連携による介護の推進
  - ・通所介護における機能訓練や入浴介助の取組の強化
  - ・介護保険施設や通所介護等における口腔衛生管理や栄養マネジメントの強化
- 介護サービスの質の評価と科学的介護の取組の推進
  - ・CHASE・VISIT情報の収集・活用とPDCAサイクルの推進
  - ・ADL維持等施策の強化
- 寝たきり防止等、重度化防止の取組の推進
  - ・施設での日常生活支援の評価・評価等（リハ、口腔、栄養）
  - ・施設での日常生活支援の評価・評価等（リハ、口腔、栄養）

#### 5. 制度の安定性・持続可能性の確保

■必要なサービスは確保しつつ、適正化・重点化を図る

- 評価の適正化・重点化
  - ・区分支給限度基準額の計算方法の一部見直し
  - ・訪問看護のリハの評価・提供回数等の見直し
  - ・長期利用の介護予防リハの評価の見直し
  - ・居宅療養管理指導の居住場所に応じた評価の見直し
  - ・介護療養型医療施設の基本報酬の見直し
  - ・介護職員処遇改善加算（Ⅳ）（Ⅴ）の廃止
  - ・生活援助の訪問回数が多い利用者等のケアプランの検証
- 報酬体系の簡素化
  - ・月額報酬化（療養通所介護）
  - ・加算の整理統合（リハ、口腔、栄養等）

#### 6. その他の事項

- ・介護保険施設におけるリスクマネジメントの強化
- ・高齢者虐待防止の推進
- ・基準費用額（食費）の見直し

令和3年度介護報酬改定に関する審議報告（令和2年12月23日）

### ■介護キャリア段位制度における評価項目

| 中項目                  | 小項目                                                                                                |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 入浴介助              | 1 入浴前の確認ができる<br>2 衣服の着脱ができる<br>3 洗体ができる<br>4 清拭ができる                                                |
| 2. 食事介助              | 1 食事前の準備を行うことができる<br>2 食事介助ができる<br>3 口腔ケアができる                                                      |
| 3. 排泄介助              | 1 排泄の準備を行うことができる<br>2 トイレ（ポータブルトイレ）での排泄介助ができる<br>3 おむつ交換を行うことができる                                  |
| 4. 移乗・移動・体位変換        | 1 起居の介助ができる<br>2 一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる<br>3 全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる<br>4 杖歩行の介助ができる<br>5 体位変換ができる |
| 5. 状況の変化に応じた対応       | 1 咳やむせこみに対応ができる<br>2 便・尿の異常に対応ができる<br>3 皮膚の異常に対応ができる<br>4 認知症の方がいつとも違う行動を行った場合に対応できる               |
| 1. 利用者・家族とのコミュニケーション | 1 相談・苦情対応ができる<br>2 利用者特性に応じたコミュニケーションができる                                                          |
| 2. 介護過程の展開           | 1 利用者に関する情報を収集できる<br>2 個別介護計画を立案できる<br>3 個別介護計画に基づく支援の実践・モニタリングができる<br>4 個別介護計画の評価ができる             |
| 3. 感染症対策・衛生管理        | 1 感染症予防対策ができる<br>2 感染症発生時に対応できる                                                                    |
| 4. 事故発生防止            | 1 ヒヤリハットの視点を持っている<br>2 事故発生時の対応ができる<br>3 事故報告書を作成できる                                               |
| 5. 身体拘束廃止            | 1 身体拘束廃止に向けた対応ができる<br>2 身体拘束を行わざるを得ない場合の手続きができる                                                    |
| 6. 終末期ケア             | 1 終末期の利用者や家族の状況を把握できる<br>2 終末期に医療機関または医療職との連携ができる                                                  |
| 1. 地域包括ケアシステム        | 1 地域内の社会資源との情報共有<br>2 地域内の社会資源との業務協力<br>3 地域内の関係職種との交流<br>4 地域包括ケアの管理業務                            |
| 2. リーダーシップ           | 1 現場で適切な技術指導ができる<br>2 部下の業務支援を適切に行っている<br>3 評価者として適切に評価できる                                         |

課題対応力  
基礎部分

課題対応力  
核心部分

課題対応力  
展開部分

医療と介護の連携、自立支援・重度化防止の取り組みについては評価項目全体に係る

介護キャリア段位制度令和2年度アセッサー講習テキスト

令和3年度介護報酬改定に関する審議報告において、介護サービス共通にて取り組むべき重点課題として、「**感染症や災害への対応力強化**」、「**地域包括ケアシステムの推進**」として認知症への対応力向上に向けた取組の推進、看取りへの対応の充実、医療と介護の連携の推進、また「**自立支援・重度化防止の取組の充実**」といった項目が掲げられている。なお、それぞれの重点課題については、PDCAサイクルに基づく介護の実践である「**介護過程の展開**」の対応力強化が必須となる。

介護キャリア段位制度における評価項目には、これらの重点課題に対する対応力の評価として設定されている。



# 課題対応力強化に向けた取り組みに関する調査・データ分析 資質向上取り組み前の資質実態に関する調査

## 【介護福祉士】経験年数別「できていない」介護職員が介護現場で占める割合一覧

資質向上取り組み前の資質実態に関する調査 期首評価データ

「できていない」率 10～19% 20～29% 30～39% 40～49% 50%以上 n=5,039

| 評価項目         |                    |                              | 経験年数 |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
|--------------|--------------------|------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 大項目          | 中項目                | 小項目                          | 1    | 2    | 3    | 4    | 5    | 6    | 7    | 8    | 9    | 10   | 11   | 12   | 13   | 14   | 15   | 16   | 17   | 18   | 19   | 20   |
| Ⅰ.基本介護技術の評価  | 1.入浴介助             | 1 入浴前の確認ができる                 | 17.2 | 13.5 | 12.9 | 8.5  | 7.1  | 6.7  | 6.9  | 8.1  | 5.8  | 6.2  | 5.5  | 4.5  | 4.8  | 4.2  | 4.3  | 2.9  | 2.5  | 0.8  | 1.2  | 4.7  |
|              |                    | 2 衣服の着脱ができる                  | 18.3 | 15.3 | 11.4 | 11.0 | 7.9  | 8.8  | 6.1  | 7.7  | 6.1  | 6.0  | 6.3  | 4.0  | 5.6  | 6.7  | 6.0  | 4.4  | 1.6  | 5.3  | 3.4  | 3.1  |
|              |                    | 3 洗体ができる                     | 24.3 | 18.1 | 14.6 | 13.5 | 8.9  | 8.3  | 7.5  | 9.7  | 8.2  | 6.9  | 6.6  | 7.8  | 6.5  | 6.4  | 6.5  | 4.4  | 3.3  | 7.6  | 2.3  | 4.7  |
|              |                    | 4 清拭ができる                     | 46.7 | 35.4 | 28.0 | 19.0 | 16.7 | 9.9  | 12.4 | 14.5 | 11.7 | 10.4 | 10.2 | 8.1  | 8.4  | 6.7  | 7.9  | 5.8  | 2.5  | 3.8  | 2.4  | 6.3  |
|              | 2.食事介助             | 1 食事前の準備を行うことができる            | 18.9 | 15.9 | 13.3 | 10.6 | 9.1  | 7.2  | 7.5  | 9.5  | 7.7  | 6.4  | 5.5  | 6.5  | 5.1  | 5.1  | 6.8  | 5.8  | 1.7  | 3.8  | 2.3  | 3.1  |
|              |                    | 2 食事介助ができる                   | 26.6 | 21.9 | 18.0 | 14.0 | 12.2 | 10.6 | 9.6  | 11.3 | 11.9 | 10.7 | 8.0  | 8.3  | 8.1  | 8.3  | 9.5  | 5.8  | 7.4  | 8.4  | 4.7  | 5.5  |
|              |                    | 3 口腔ケアができる                   | 30.0 | 25.3 | 19.6 | 15.6 | 13.9 | 9.4  | 11.1 | 12.5 | 7.9  | 9.2  | 7.4  | 6.9  | 7.3  | 8.4  | 9.2  | 2.9  | 5.8  | 7.7  | 4.7  | 6.3  |
|              | 3.排泄介助             | 1 排泄の準備を行うことができる             | 12.0 | 11.0 | 8.9  | 7.7  | 6.7  | 5.3  | 5.6  | 5.5  | 4.9  | 3.7  | 2.7  | 4.2  | 4.0  | 2.9  | 4.3  | 2.9  | 3.3  | 2.3  | 3.4  | 1.6  |
|              |                    | 2 トイレ（ポータブルトイレ）での排泄介助ができる    | 25.8 | 23.8 | 20.4 | 13.4 | 12.4 | 10.4 | 9.4  | 10.7 | 8.2  | 9.0  | 8.2  | 8.0  | 7.5  | 7.4  | 6.8  | 6.3  | 4.1  | 7.6  | 3.4  | 7.1  |
|              |                    | 3 おむつ交換を行うことができる             | 29.6 | 22.2 | 19.0 | 10.5 | 10.6 | 8.0  | 7.3  | 10.1 | 6.6  | 8.5  | 7.1  | 6.5  | 5.4  | 4.2  | 7.1  | 3.4  | 5.0  | 6.9  | 3.5  | 1.6  |
|              | 4.移乗・移動・体位変換       | 1 起居の介助ができる                  | 20.8 | 19.1 | 13.8 | 13.0 | 8.4  | 8.8  | 7.7  | 7.1  | 5.4  | 6.4  | 4.7  | 5.1  | 5.6  | 2.2  | 4.1  | 3.4  | 2.5  | 2.3  | 2.3  | 1.6  |
|              |                    | 2 一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる    | 28.1 | 27.0 | 21.7 | 17.2 | 13.3 | 10.2 | 11.3 | 12.1 | 11.2 | 8.8  | 9.4  | 9.6  | 9.9  | 8.1  | 7.9  | 5.3  | 9.9  | 7.6  | 4.7  | 4.7  |
|              |                    | 3 全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる     | 35.9 | 32.8 | 28.7 | 20.1 | 16.7 | 14.1 | 14.8 | 15.2 | 13.1 | 10.0 | 11.3 | 11.2 | 10.5 | 10.3 | 9.5  | 8.8  | 8.3  | 13.7 | 4.8  | 7.1  |
|              |                    | 4 杖歩行の介助ができる                 | 35.4 | 29.1 | 23.1 | 19.3 | 15.8 | 12.7 | 11.0 | 12.3 | 10.2 | 12.2 | 6.7  | 10.4 | 6.5  | 9.1  | 13.1 | 7.9  | 10.1 | 7.1  | 3.5  | 9.6  |
|              |                    | 5 体位変換ができる                   | 33.1 | 28.3 | 21.3 | 15.1 | 13.9 | 11.3 | 9.2  | 10.1 | 6.8  | 8.6  | 7.5  | 7.2  | 5.4  | 5.8  | 6.6  | 3.9  | 7.4  | 5.3  | 6.0  | 3.2  |
|              | 5.状況の変化に応じた対応      | 1 咳やむせこみに対応ができる              | 40.3 | 30.3 | 23.9 | 16.9 | 14.7 | 11.7 | 9.8  | 10.1 | 9.1  | 6.5  | 8.8  | 7.6  | 6.0  | 5.3  | 9.7  | 4.2  | 1.7  | 5.8  | 2.7  | 4.2  |
|              |                    | 2 便・尿の異常に対応ができる              | 54.6 | 39.6 | 30.9 | 25.8 | 21.2 | 18.1 | 16.0 | 14.6 | 9.9  | 12.7 | 12.9 | 10.6 | 9.3  | 10.3 | 12.0 | 8.4  | 3.5  | 9.9  | 8.1  | 5.1  |
|              |                    | 3 皮膚の異常に対応ができる               | 56.7 | 42.8 | 33.6 | 25.7 | 23.9 | 18.8 | 17.6 | 16.6 | 9.1  | 13.8 | 14.1 | 12.3 | 10.3 | 11.0 | 14.7 | 8.9  | 4.3  | 10.7 | 6.8  | 6.0  |
|              |                    | 4 認知症の方がいつもと違う行動を行った場合に対応できる | 63.9 | 53.6 | 47.1 | 36.9 | 31.2 | 28.2 | 24.6 | 22.6 | 20.2 | 21.2 | 19.6 | 20.8 | 17.3 | 16.3 | 20.5 | 13.2 | 11.3 | 14.2 | 9.5  | 18.8 |
| Ⅱ.介護過程の評価    | 1.利用者家族とのコミュニケーション | 1 相談・苦情対応ができる                | 70.0 | 60.4 | 50.5 | 43.8 | 38.5 | 31.5 | 31.6 | 30.0 | 29.6 | 25.8 | 21.3 | 20.1 | 24.2 | 18.5 | 22.2 | 11.1 | 14.9 | 15.7 | 11.8 | 15.6 |
|              |                    | 2 利用者特性に応じたコミュニケーションができる     | 37.9 | 31.7 | 26.8 | 23.0 | 17.1 | 14.6 | 14.3 | 11.7 | 12.3 | 11.0 | 8.2  | 9.3  | 9.1  | 6.9  | 12.1 | 7.9  | 5.2  | 6.6  | 5.3  | 7.4  |
|              | 2.介護過程の展開          | 1 利用者に関する情報を収集できる            | 43.8 | 32.6 | 31.1 | 24.3 | 17.8 | 14.0 | 14.6 | 13.6 | 13.4 | 10.5 | 9.2  | 8.3  | 9.9  | 11.6 | 10.0 | 4.7  | 7.4  | 10.7 | 5.7  | 7.8  |
|              |                    | 2 個別介護計画を立案できる               | 61.3 | 69.5 | 61.8 | 66.5 | 50.7 | 41.9 | 42.2 | 40.6 | 33.9 | 34.1 | 25.5 | 26.0 | 25.5 | 26.6 | 19.4 | 21.3 | 23.1 | 14.3 | 30.4 |      |
|              |                    | 3 個別介護計画に基づく支援の実践・モニタリングができる | 74.4 | 61.8 | 51.7 | 46.6 | 40.7 | 33.0 | 33.1 | 31.3 | 25.0 | 29.1 | 21.2 | 20.5 | 19.5 | 21.2 | 20.1 | 15.9 | 23.1 | 20.7 | 12.9 | 22.6 |
|              |                    | 4 個別介護計画の評価ができる              | 77.3 | 67.2 | 59.1 | 53.4 | 48.3 | 36.3 | 37.1 | 35.5 | 30.9 | 33.0 | 24.3 | 24.9 | 26.4 | 25.6 | 22.1 | 20.7 | 25.0 | 24.3 | 17.1 | 26.1 |
|              | 3.感染症対策・衛生管理       | 1 感染症予防対策ができる                | 41.3 | 36.6 | 28.6 | 24.2 | 20.4 | 14.9 | 15.1 | 12.3 | 12.5 | 13.2 | 9.4  | 10.3 | 9.4  | 12.5 | 11.2 | 11.2 | 7.8  | 8.3  | 6.8  | 13.1 |
|              |                    | 2 感染症発生時に対応できる               | 66.4 | 57.1 | 43.7 | 33.1 | 30.5 | 23.0 | 25.4 | 22.3 | 15.2 | 17.3 | 14.2 | 15.3 | 13.4 | 16.4 | 15.2 | 9.7  | 11.3 | 12.4 | 4.1  | 16.5 |
|              | 4.事故発生防止           | 1 ヒヤリハットの視点を持っている            | 36.6 | 28.2 | 24.8 | 22.6 | 17.5 | 10.8 | 14.0 | 11.0 | 11.3 | 8.6  | 8.8  | 9.5  | 13.0 | 11.5 | 8.9  | 7.4  | 6.1  | 7.4  | 4.0  | 7.4  |
|              |                    | 2 事故発生時の対応ができる               | 57.6 | 41.6 | 32.5 | 28.0 | 22.1 | 16.9 | 15.5 | 14.9 | 14.2 | 12.0 | 12.6 | 11.3 | 10.9 | 11.5 | 12.2 | 7.5  | 10.4 | 11.5 | 6.8  | 11.6 |
|              |                    | 3 事故報告書を作成できる                | 48.9 | 37.3 | 27.1 | 24.5 | 22.7 | 13.9 | 15.5 | 17.6 | 13.6 | 14.1 | 12.5 | 13.4 | 14.2 | 11.6 | 13.1 | 8.8  | 14.8 | 10.7 | 12.9 | 14.0 |
|              | 5.身体拘束廃止           | 1 身体拘束廃止に向けた対応ができる           | 68.5 | 51.1 | 47.7 | 40.4 | 29.3 | 23.7 | 27.4 | 26.3 | 18.7 | 24.4 | 17.5 | 18.9 | 20.2 | 19.0 | 18.1 | 14.4 | 12.0 | 14.7 | 8.8  | 20.9 |
|              |                    | 2 身体拘束を行わざるを得ない場合の手続きができる    | 87.5 | 81.4 | 74.9 | 72.3 | 60.7 | 55.4 | 55.2 | 56.4 | 43.1 | 47.1 | 42.0 | 37.5 | 39.4 | 38.4 | 38.3 | 31.5 | 37.0 | 29.5 | 29.4 | 29.2 |
| Ⅲ.地域包括ケアシステム | 1.地域包括ケアシステム       | 1 終末期の利用者や家族の状況を把握できる        | 76.9 | 66.9 | 57.1 | 49.1 | 41.3 | 36.2 | 37.1 | 36.2 | 32.1 | 29.1 | 27.7 | 27.3 | 27.5 | 27.6 | 26.2 | 20.9 | 29.0 | 20.4 | 10.4 | 20.2 |
|              |                    | 2 終末期に医療機関または医療職との連携ができる     | 85.1 | 75.3 | 60.3 | 57.4 | 47.3 | 46.6 | 39.1 | 44.2 | 36.0 | 35.8 | 29.4 | 33.1 | 28.0 | 32.6 | 33.1 | 29.9 | 32.4 | 28.7 | 25.4 | 23.9 |
|              |                    | 3 地域内の社会資源との情報共有             | 89.8 | 83.7 | 84.5 | 79.1 | 73.4 | 68.6 | 69.6 | 65.6 | 67.6 | 63.7 | 54.7 | 54.5 | 52.0 | 48.5 | 53.8 | 43.9 | 51.9 | 45.0 | 50.9 | 46.6 |
|              |                    | 2 地域内の社会資源との業務協力             | 90.6 | 85.7 | 87.7 | 81.1 | 74.4 | 72.6 | 74.0 | 71.6 | 72.2 | 69.3 | 60.3 | 60.8 | 57.8 | 54.3 | 57.6 | 48.8 | 50.0 | 52.5 | 54.4 | 46.6 |
|              | 2.リーダーシップ          | 3 地域内の関係職種との交流               | 89.8 | 84.5 | 84.5 | 77.7 | 73.6 | 70.1 | 68.1 | 67.4 | 68.9 | 63.5 | 59.5 | 56.6 | 52.5 | 47.8 | 53.2 | 46.0 | 55.7 | 52.5 | 45.6 | 43.2 |
|              |                    | 4 地域包括ケアの管理業務                | 95.5 | 95.6 | 94.2 | 92.9 | 88.2 | 83.2 | 89.2 | 84.7 | 82.4 | 77.7 | 79.7 | 75.1 | 72.1 | 68.2 | 71.6 | 63.1 | 64.6 | 77.6 | 64.3 | 61.8 |
|              |                    | 1 現場で適切な技術指導ができる             | 88.4 | 79.0 | 67.7 | 61.5 | 52.2 | 41.3 | 44.5 | 39.8 | 36.1 | 34.3 | 30.6 | 28.1 | 23.9 | 30.7 | 24.0 | 22.2 | 21.7 | 22.2 | 19.0 | 28.1 |
|              | 3.評価者として適切に評価できる   | 2 部下の業務支援を適切に行っている           | 87.3 | 77.0 | 69.9 | 59.5 | 53.9 | 44.9 | 45.4 | 44.0 | 39.7 | 38.3 | 33.2 | 33.3 | 27.6 | 34.3 | 27.0 | 26.1 | 22.2 | 29.3 | 31.5 |      |
|              |                    | 3 評価者として適切に評価できる             | 91.7 | 83.7 | 79.2 | 73.6 | 65.5 | 55.9 | 58.6 | 56.9 | 51.6 | 48.3 | 41.8 | 40.0 | 35.5 | 40.1 | 33.8 | 29.4 | 31.3 | 26.6 | 28.1 | 37.1 |

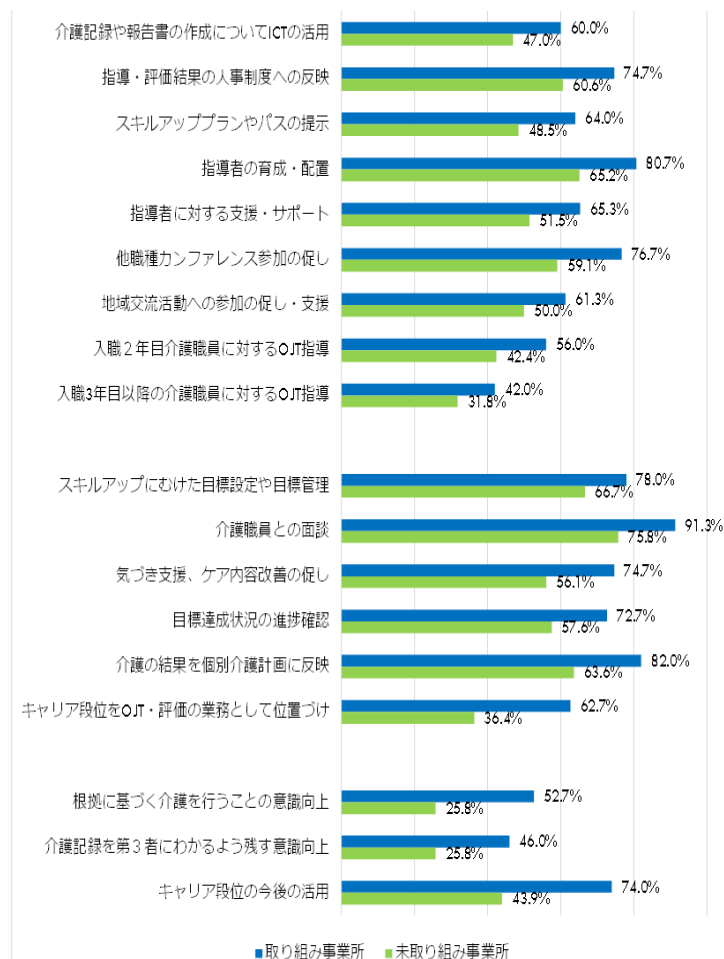
平成29年度「OJT」を通じた介護職員の人材育成に関する調査研究事業

- 経験年数10年を経過した介護福祉士有資格者のうち、重点課題に対する対応が「できていない」介護職員が占める割合は、「感染症対応」については2割弱、「認知症対応」が2割強、ケアのPDCAサイクルの推進となる「介護過程の展開」や「終末期ケア」については3割を超え、「地域包括ケアシステムの取り組み」に至っては「できていない」介護職員が7割を占めている。
- 重点課題のうち「介護過程の展開」や「終末期ケア」、「地域包括ケアシステムの取り組み」について経験年数10年を経過したとしても「できていない」介護職員が占める割合が高い実態を示している。

⇒経験年数を経るだけでは、課題対応力は身につかない。スキルの獲得には、実践力強化の仕組みが不可欠である。

- 介護キャリア段位制度に取り組む事業所（アセッサーを配置し、レベル認定輩出実績が3件以上の群）と、未取り組み事業所（アセッサーを配置し、レベル認定輩出実績が0件の群）との比較を行なったところ、以下の項目について統計的に有意差が確認された。
- 介護キャリア段位制度を用いたOJT・評価を実施している事業所と、アセッサーを養成しつつも、OJTに取り組んでいない事業所とでは、体系的なOJTを実施するための整備の差、多職種との連携、地域との関わり、根拠に基づくケア、業務の様々なPDCA展開に差が確認された。
- 介護キャリア段位制度に取り組む事業所の方が、人材育成のシステム化がはかられていること、介護キャリア段位制度を用いた取り組みは、OJT対象の職員の課題対応力強化につながるだけでなく、集団・組織に影響を与えている。

## ■ 事業所調査結果 2つの群に統計的有意差がある事項 (n=216)

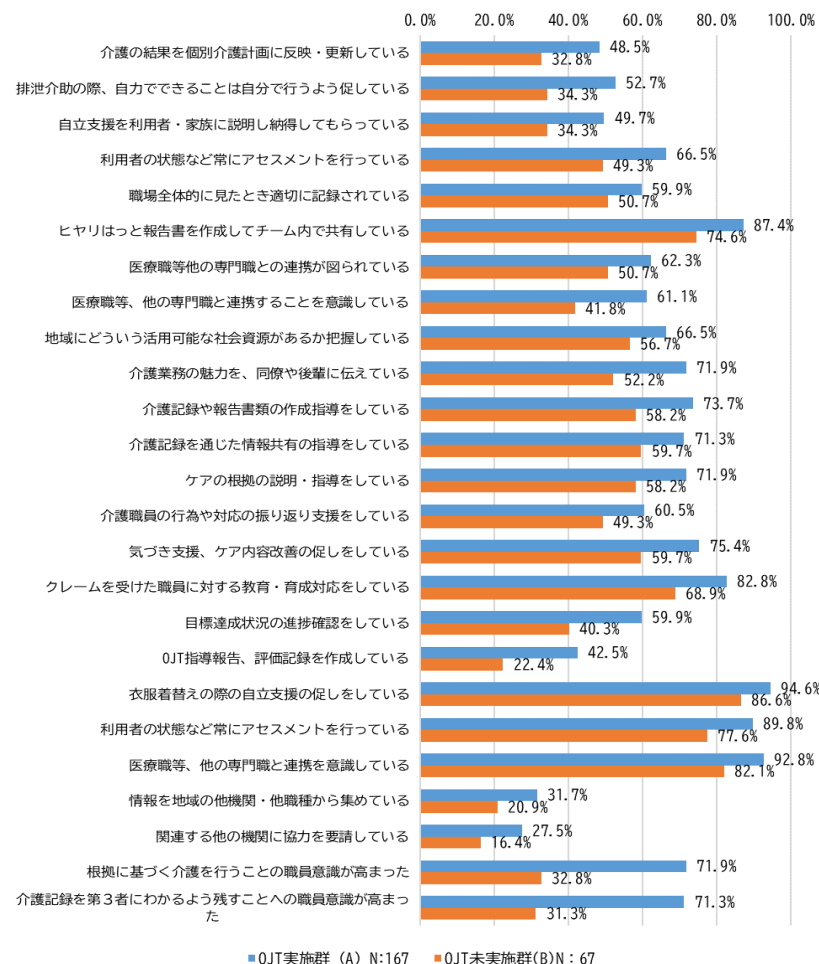


介護キャリア段位制度に組み込まれた、人材育成のシステム化に係る事項に有意差がみられる

介護キャリア段位制度の評価基準に組み込まれたケア業務のPDCA展開に係る事項に有意差がみられる

職員へのOJTの取り組みは、集団・組織にも変化をもたらす

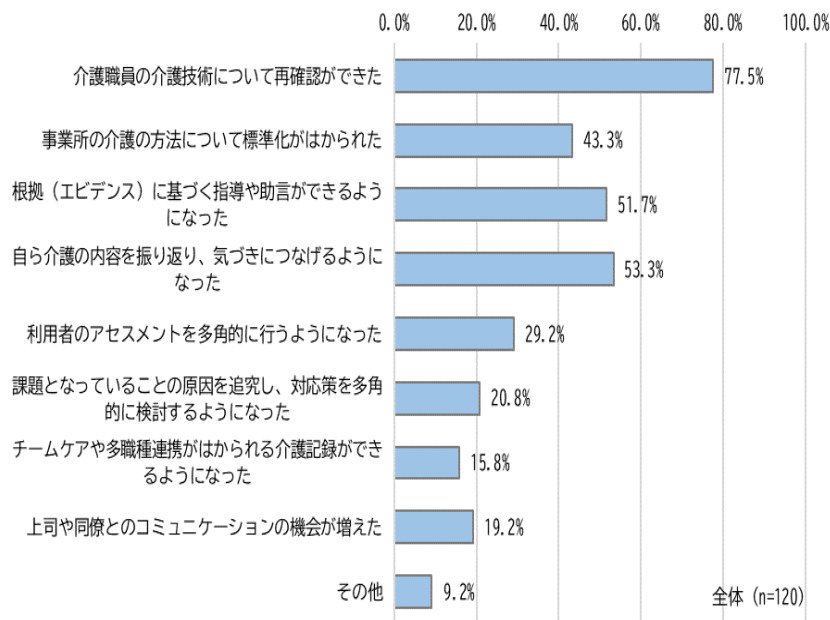
## ■ 指導者調査結果 2つの群に統計的有意差がある事項 (n=234)





- 介護キャリア段位制度を用いて、指導者（＝評価者）の養成、教育に際してのキャリアラダー・評価基準の活用、OJTの実施、他者評価の実施を行った事業所では、再確認の機会、ケアの標準化、指導の標準化につながっているとの傾向。
- 介護キャリア段位取り組み事業所と未取り組み事業所との比較においても、「観察する力」、「多角的に検討したり、分析する力」、「多職種との連携、介護の専門職として発揮する力」、「根拠に基づく介護の指導力」について、育成認識に差が出ている。

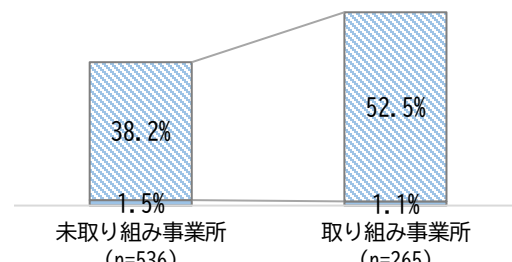
### ■ 介護キャリア段位制度の取り組みを通じた介護の課題対応力への効果



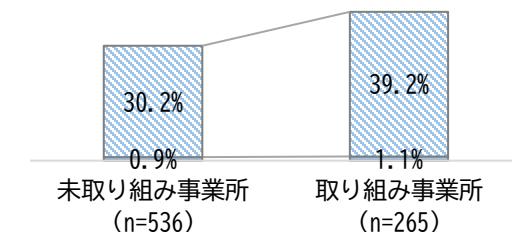
### ■ 介護キャリア段位制度取り組み別による、課題対応力強化取り組み効果比較

状況による変化や利用者ごとに異なる心身の状況を「観察する力」の育成

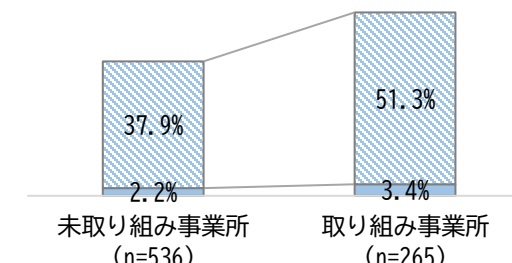
■ どちらかといえばできていると思う  
■ 十分できていると思う



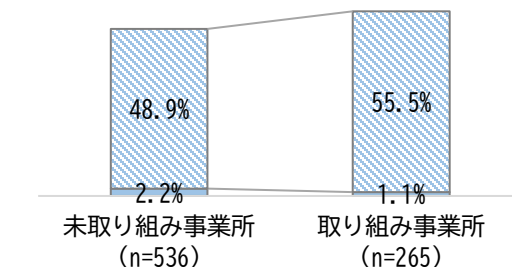
介護現場で直面する事象に対し「多角的に検討したり、分析する力」の育成



多職種と連携し、介護の専門職として力を発揮するための育成



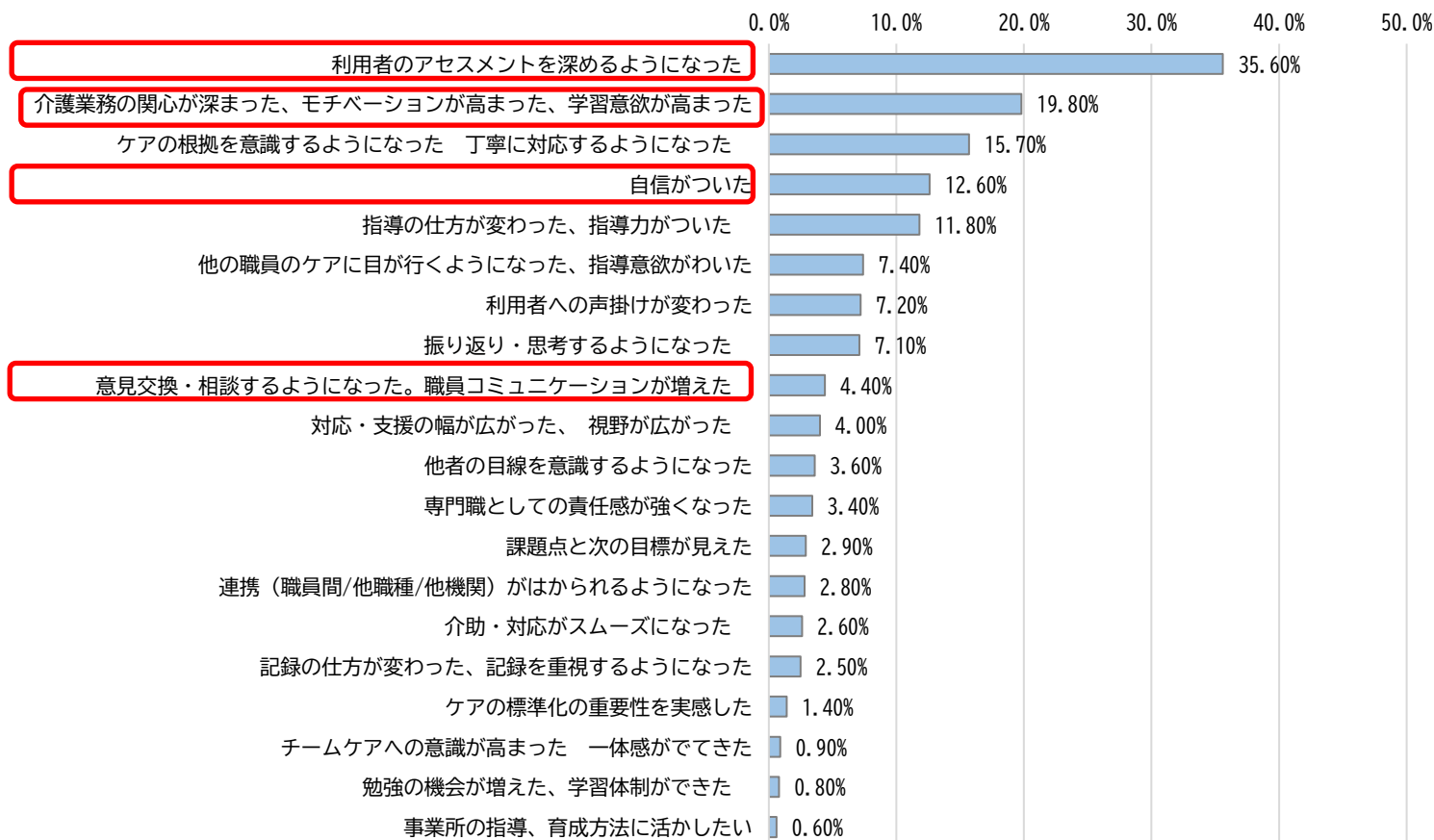
指導者の自己流や主観ではなく、「根拠（エビデンス）に基づく介護の指導



■ 介護キャリア段位制度に取り組んだことによる変化（効果）

レベル認定者の回答

(n:1,577)



- 介護キャリア段位制度のスキームを用いた評価・OJTを通じて、「利用者のアセスメントを深めるようになった」との回答が最も多かった。「根拠に基づくケア」が実践され、評価項目に組み込まれた「ケアプロセスのPDCAサイクルを展開していくことで、利用者主体のケアの実践に繋がっている。
- また根拠に基づくケアを通じて、職員自身の視野の広がり、職員間の意見交換の機会にも繋がり、職員のモチベーションアップ、学習意欲の向上、自信といった、離職率低減の先行指標にプラスに働いている。
- 介護キャリア段位制度の取り組みを通じた学習と根拠に基づくケアの実践が、ケアへの自信・業務への意欲向上につながっており、人材の定着に寄与している。

アセッサーからみた、介護キャリア段位制度に取り組んだことによる職員の変化 (n:889)



アセッサー（評価者）からみた職員・職場の変化（自由記載より）

＜ケアが丁寧になった＞

- ・ 利用者と接する機会が自然と増した。
- ・ 説明と同意について、かなり丁寧になった。
- ・ 評価を受ける前よりも入居者の観察やコミュニケーションを丁寧に行い、少しでも入居者の状態に応じたケアに繋げようと努めるようになった。また、実施後にケアの振り返りを行うことを意識的に取り組んでいる。
- ・ 利用者との関わり方が変わってきた。利用者の小さな行動など気づく事が多くなってきた。職員間での情報共有もまめにとる様になった。

＜記録の仕方が変わった＞

- ・ 日常業務内での利用者に対する視点や観察力が向上し、それが日々の経過記録にも反映されている。

＜意見交換、勉強の機会、視野が広がった＞

- ・ 利用者への対応や介助方法について、より良いケアを行うためにはどうしたらよいか、と意見交換する機会が増えました。
- ・ 他の職員の対応を見て自分の勉強になり、新人職員に適切に分かり易く教育することが出来た。多職種の連携もできやすくなった。

＜モチベーションが上がった、前向きになった＞

- ・ 理解が深まる毎にモチベーションが上がった。ケアの行動、実施以外でも記録に対し根拠に基づくケアはできる。介助と記録で「ケア」になることが深く理解できた。
- ・ 考える力・前向きな行動・気持ちの変化があった。

- ・ 評価者側からみた、介護職員の変化としても、介護職員自身による見解と同様の傾向が示された。
- ・ キャリア段位制度の評価取り組みを通じた、介護職員の変化として、「ケアの見直しがされた」「誤りが修正できた」、「モチベーションが上がった」との回答の他、「利用者への声かけがかわった」「丁寧な対応になった」、「利用者のアセスメントが深まった」、「コミュニケーションの機会が増えた」「意見交換や勉強会の場ができた」、「情報共有・連携に変化が見られた」、「他の職員のケアに変化がみられた」など、取り組みが、周囲にも影響を与え、職場学習の機会に繋がっている。

- 介護キャリア段位制度のツールを用いて、評価を経験した評価者・職員からは、現場の具体的な課題に対応していくための学習への支援要望が示されている。
- 課題対応力強化に向けては、現場の学習の仕組み作りへの支援とともに、これらを通じて表出する課題観点をを吸い上げ、課題解決に繋がる学習（地域の実情の把握や事業所間での比較など）の支援がもとめられる。（現場学習の仕組みの自走と、現場課題を踏まえた外部研修等の往還の仕組み）

|                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 認知症ケアの対応力強化に向けてのOJT要望より         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケア含む基本的な知識の再確認、勉強会の機会がほしい</li> <li>・認知症の方の次のケアにつながる記録方法の学習がしたい</li> <li>・認知症の方の対応パターンの練習や意見交換会、一緒に考える機会がほしい</li> <li>・他の介護職員が実際に対応したケース等を知る機会、事例を知る機会がほしい</li> </ul>                                                            |
| 支援策案                            | 認知症の方がいつもと違う行動した時の記録の残し、事例の共有会、意見交換会の機会を事業所の内外で積極的に設ける                                                                                                                                                                                                                     |
| 介護過程の展開に関する課題力強化に向けてのOJT要望より    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護過程の展開に関して施設内・外で学べる環境がほしい</li> <li>・介護過程の展開にあたり、ケアマネジャーとの連携を強化する仕組みがほしい</li> <li>・介護過程の展開について、文書化したものを第三者に評価してもらいたい</li> </ul>                                                                                                    |
| 支援策案                            | 業務において積極的に介護過程の展開に携わる業務環境を作ったうえで、ケアマネジャーとの連携を密にし、情報収集の仕方、計画への反映、モニタリング、評価など一連の流れについて学んでいき、最終的に自身が携わった介護過程の展開について、第三者に確認・評価してもらおう環境づくりの支援                                                                                                                                   |
| 感染症対策に関する課題力強化に向けてのOJT要望より      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症への知識を高めるため研修を受けたい</li> <li>・感染症発生時のシミュレーションを実施してほしい</li> <li>・施設全体で感染症対策の確認をしてほしい</li> </ul>                                                                                                                                    |
| 支援策案                            | 新型コロナウイルス感染症対策だけでなく、様々な感染症に関する知識を身につけるための研修の機会をつくる、また感染症発生時のシミュレーションをはじめ、実技に関するチェックを施設や事業所全体で確認する環境づくりの支援が求められる。                                                                                                                                                           |
| 終末期ケアに関する対応力強化に向けてのOJT要望より      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護士としての役割、多職種との連携について学習機会を作ってほしい</li> <li>・終末期ケアの現状などの学習の機会を作ってほしい</li> </ul>                                                                                                                                                      |
| 支援策案                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療職や多職種との連携について実践学習の機会をつくる</li> <li>・終末期の利用者や家族の希望をどのように尊重していくかなどを確認する環境づくり</li> </ul>                                                                                                                                             |
| 地域包括ケアシステムに関する対応力強化に向けてのOJT要望より | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムについての交流や業務協力等について、実施する機会を設けてほしい</li> <li>・施設内の相談員、地域包括支援センターの方から情報や知識を得て地域との交流の機会があれば参加したい</li> <li>・地域包括ケアシステムの一環として、他部署の業務に参加し外部の施設や職員と交流する機会を持ちたい</li> <li>・地域包括ケアシステムが実施できている事業所等があれば、是非事業所へ出向いて研修等に参加したい</li> </ul> |
| 支援策案                            | 他部署の協力も得つつ、地域の関係機関の情報を収集し、積極的に交流する機会を作り、できることから始めていく。取り組みを事業所内で共有をはかり、地域包括ケアシステムの取り組みを他の介護職員に対して波及していく、できるだけ多く巻き込んでいく環境づくりを支援していく。                                                                                                                                         |



## 介護事業所における課題対応力強化の取り組みの現状

- 教育研修（Off-JT/OJT）の実装に必要となる、指導者の質の確保（指導者研修の機会）、教育研修に活用できるツール（スキルアップの道筋の明示）、職員のスキル把握や指導に資する評価基準の整備、他者評価の実施といった、OJTの仕組み作りに不可欠な取り組みは、一部の事業所の取り組みに限られ、他者による評価の実施は3割となっている。
- 組織の中に「学習」の機会を生む仕掛けづくりについても、半数近くの事業所では実施されておらず、業務を通じた課題対応力向上は、現場の指導者、職員自身の手法や取り組みに委ねられている。

## 都道府県における課題対応力強化の取り組みの現状

- 介護職員の課題対応力強化に向け、具体的な方策は明示されていない中、高度化・複雑化・専門化する現場ニーズに応えていくためには、介護キャリア段位制度の取り組みを通じて現場から表出された、具体的な学習要望を参考に、事業所内部の学習の仕組み作りの支援と、課題解決に繋がる学習支援の双方が往還する支援が求められる。

## OJT・評価を通じた課題対応力向上の必要性

- 「資質向上取り組み前の資質実態に関する調査」（期首評価データ分析）からは、強化すべき重点課題である、認知症ケア、介護過程の展開、終末期ケア、地域包括ケアシステム等において、業務経験だけでは課題対応力獲得には繋がらない実態が示されている。現場に教育の仕組みが機能していない場合、職員は、スキル向上の機会を逸することになる。（介護現場での教育の仕組みが不可欠であることを示す分析として、標記の調査の他、報告書第Ⅲ章「基礎的介護技術の資質実態に関する調査（n：3,898）」、「課題対応力強化の取り組み前における資質実態データ分析（n:1,263）」他参照）
- 課題対応力は、育成に向けて系統的（目標の明確化、評価基準の整備、手法確立、評価の実施）取り組むことによって、対応力獲得に向けての速度は各段に速まり、実践的スキル獲得へと向けることができる。OJT・評価にあたっては、用いる評価・指導ツールの質の確保が求められる。介護キャリア段位制度を用いたOJT・評価では、重点課題に関する課題対応力の強化に、繋げることができている。（報告書第Ⅲ章「基礎的介護技術の資質実態に関する調査」、「資質向上の取り組みに要するOJT実施期間に関する調査」「課題対応力強化の取り組み後における対応事例調査」他参照）
- また、介護キャリア段位制度に取り組むことで、「根拠に基づくケアの実践」を通して、職員の視野の広がり、コミュニケーションの機会の創出、業務に対するモチベーションの高まり、介護への自信といった離職低減の先行指標といえる事項にプラスに働いている。（報告書「課題対応力強化の取り組みによる介護職員の行動・意識変化分析」）また、介護キャリア段位制度の取り組みは、「観察力」「分析力」「連携力」といったスキルの向上に繋がっており、（「介護事業所における課題対応力強化の取り組みに関する調査」）、集団・組織にも影響を及ぼしている。（報告書「介護技術評価取り組み事業所の特徴に関する調査（n:216）」「OJTを通じた指導職員と介護職員の資質向上の効果に関する調査（指導員n:234、介護職員n:837）」参照）
- 現場の職員の専門性、課題対応力（アップスキリング）の基盤なくしては、現場のデータヘルス改革も生産性の向上も成しえず、現場での実践を通じた他者評価の仕組み作り、現場の実践的スキル向上の学習（OJT）システムが求められる。

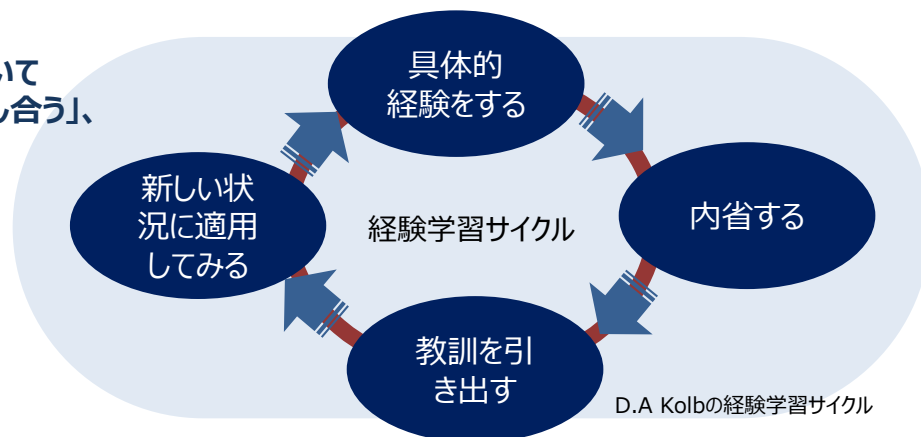


- 介護キャリア段位制度は、介護職員の実践的スキル向上にむけた事業所内での効果的・効率的なOJTの仕組み作りを支援します。
- 介護キャリア段位制度の評価基準を用いた評価・OJTを通じて、介護職員の実践的スキルの向上を図り、学習のPDCAサイクルを介護職員だけでなく、事業所内にインソーシング（根付かせていく）することを目指します。  
⇒ 経験学習サイクルをつくりあげる

評価・OJTを通じて、  
適切な介護の提供について  
日々「考える」、チームで「話し合う」、  
「実践する」



介護職員



実践的スキルの獲得

業務と「学習」が一体化

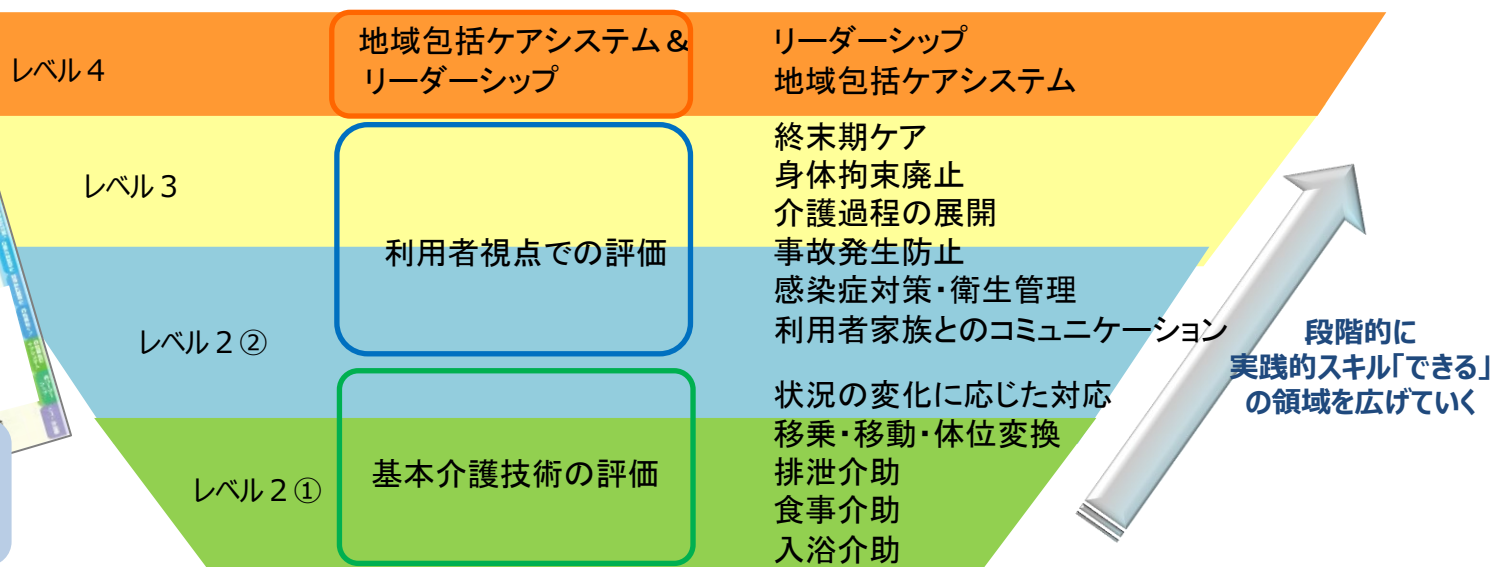


アセッサーによる評価・OJT



OJTポケット  
ガイド※

- 携帯して確認できる
- 振り返りができる
- 習慣化で、実践的スキルの向上をはかる



段階的に  
実践的スキル「できる」  
の領域を広げていく

評価項目（チェック項目）は全部で148項目で構成。各レベルに応じてチェック項目数が変わり、レベル2①では62、レベル4では148項目が対象。

| 大項目                | 中項目            | 小項目                          | チェック項目数 |
|--------------------|----------------|------------------------------|---------|
| Ⅰ<br>基本介護技術<br>の評価 | 1. 入浴介助        | 1 入浴前の確認ができる                 | 2       |
|                    |                | 2 衣服の着脱ができる                  | 5       |
|                    |                | 3 洗体ができる                     | 4       |
|                    |                | 4 清拭ができる                     | 3       |
|                    | 2. 食事介助        | 1 食事前の準備を行うことができる            | 6       |
|                    |                | 2 食事介助ができる                   | 5       |
|                    |                | 3 口腔ケアができる                   | 4       |
|                    | 3. 排泄介助        | 1 排泄の準備を行うことができる             | 3       |
|                    |                | 2 トイレ（ポータブルトイレ）での排泄介助ができる    | 6       |
|                    |                | 3 おむつ交換を行うことができる             | 4       |
|                    | 4. 移乗・移動・体位変換  | 1 起居の介助ができる                  | 4       |
|                    |                | 2 一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる    | 4       |
|                    |                | 3 全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる     | 5       |
|                    |                | 4 杖歩行の介助ができる                 | 3       |
|                    |                | 5 体位変換ができる                   | 4       |
|                    | 5. 状況の変化に応じた対応 | 1 咳やむせこみに対応ができる              | 3       |
|                    |                | 2 便・尿の異常に対応ができる              | 4       |
|                    |                | 3 皮膚の異常に対応ができる               | 4       |
|                    |                | 4 認知症の方がいつもと違う行動を行った場合に対応できる | 3       |

| 大項目                                         | 中項目               | 小項目                | チェック項目数 |
|---------------------------------------------|-------------------|--------------------|---------|
| Ⅲ<br>地域包括<br>ケアシス<br>テム&<br>リーダ<br>ーシッ<br>プ | 1. 地域包括ケアシス<br>テム | 1 地域内の社会資源との情報共有   | 3       |
|                                             |                   | 2 地域内の社会資源との業務協力   | 2       |
|                                             |                   | 3 地域内の関係職種との交流     | 2       |
|                                             |                   | 4 地域包括ケアの管理業務      | 2       |
|                                             | 2. リーダーシップ        | 1 現場で適切な技術指導ができる   | 5       |
|                                             |                   | 2 部下の業務支援を適切に行っている | 5       |
|                                             |                   | 3 評価者として適切に評価できる   | 2       |

| レベル         | レベル2① | レベル2② | レベル3 | レベル4 |
|-------------|-------|-------|------|------|
| チェック<br>項目数 | 62    | 91    | 127  | 148  |

### 評価基準の基本的な考え方

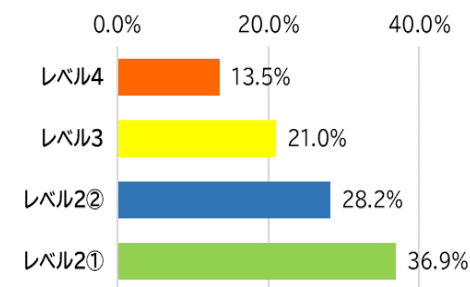
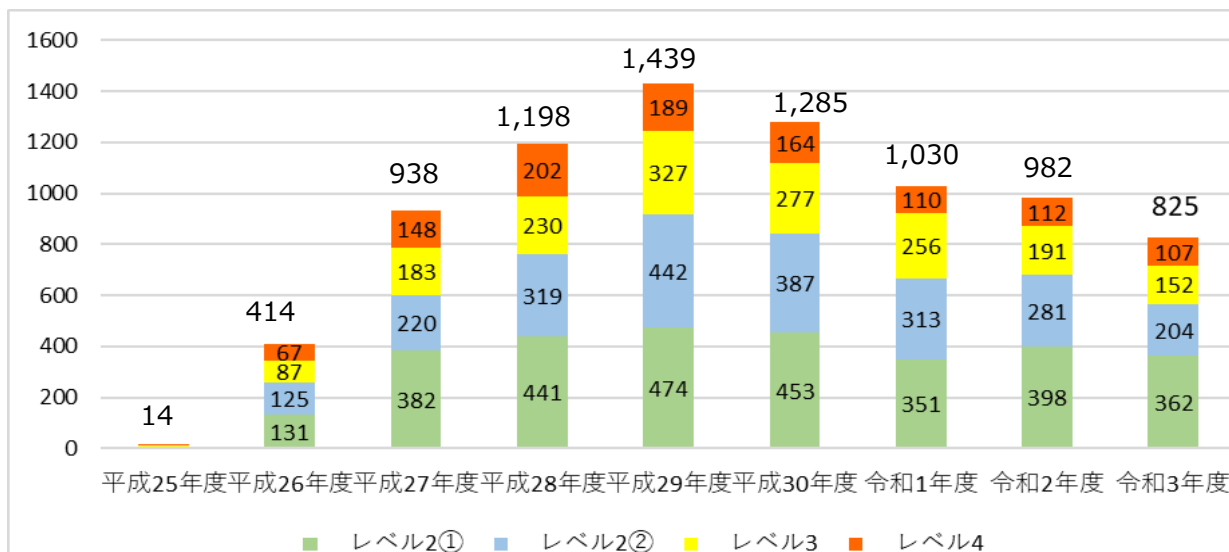
- OJT ツールとして現場感覚に合った有効な基準
- 汎用性のある基準
- 簡素かつ分かりやすい基準
- **利用者の視点を意識**
- YES・NO が明確であること
- **地域包括ケアを担う人材育成に資する基準**

- タイムスタディ調査結果に基づき、在宅・施設ともに介護行為の発生率の高いものを抽出
- **コミュニケーション能力、本人・家族への情報提供・意向確認・反映、利用者の状態変化への対応力の強化に資する基準**
- **他の職種や機関との連携の能力や問題解決能力、状況判断能力の強化に資する基準**

| 大項目                    | 中項目                      | 小項目                          | チェック項目数 |
|------------------------|--------------------------|------------------------------|---------|
| Ⅱ<br>利用者<br>視点で<br>の評価 | 1. 利用者・家族とのコ<br>ミュニケーション | 1 相談・苦情対応ができる                | 5       |
|                        |                          | 2 利用者特性に応じたコミュニケーションができる     | 6       |
|                        | 2. 介護過程の展開               | 1 利用者に関する情報を収集できる            | 3       |
|                        |                          | 2 個別介護計画を立案できる               | 4       |
|                        |                          | 3 個別介護計画に基づく支援の実践・モニタリングができる | 4       |
|                        |                          | 4 個別介護計画の評価ができる              | 3       |
|                        | 3. 感染症対策・衛生管<br>理        | 1 感染症予防対策ができる                | 4       |
|                        |                          | 2 感染症発生時に対応できる               | 2       |
|                        | 4. 事故発生防止                | 1 ヒヤリハットの視点を持っている            | 3       |
|                        |                          | 2 事故発生時の対応ができる               | 4       |
|                        |                          | 3 事故報告書を作成できる                | 2       |
|                        | 5. 身体拘束廃止                | 1 身体拘束廃止に向けた対応ができる           | 3       |
|                        |                          | 2 身体拘束を行わざるを得ない場合の手続ができる     | 2       |
|                        | 6. 終末期ケア                 | 1 終末期の利用者や家族の状況を把握できる        | 3       |
|                        |                          | 2 終末期に医療機関または医療職との連携ができる     | 3       |

- 平成24年度に、評価を担うアセッサーの養成から着手され、平成27年度以降は毎年度1,000名前後の介護職員がレベル認定されてきている。令和4年度3月現在において、累計で8,125名のレベル認定者を輩出しており、内訳としては、レベル2①認定者が2,996名、レベル2②認定者が約2,294名、レベル3認定者が1,708名、レベル4認定者が1,100名となっている。（令和4年3月時点）

| 年度    | 平成25<br>年度 | 平成26<br>年度 | 平成27<br>年度 | 平成28<br>年度 | 平成29<br>年度 | 平成30<br>年度 | 令和1年<br>度 | 令和2年<br>度 | 令和3年<br>度 | 計     |
|-------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-------|
| ユニット  | 0          | 4          | 5          | 6          | 7          | 4          | 0         | 0         | 0         | 26    |
| レベル2① | 4          | 131        | 382        | 441        | 474        | 453        | 351       | 398       | 362       | 2,996 |
| レベル2② | 3          | 125        | 220        | 319        | 442        | 387        | 313       | 281       | 204       | 2,294 |
| レベル3  | 5          | 87         | 183        | 230        | 327        | 277        | 256       | 191       | 152       | 1,708 |
| レベル4  | 2          | 67         | 148        | 202        | 189        | 164        | 110       | 112       | 107       | 1,100 |
| 合計    | 14         | 414        | 938        | 1,198      | 1,439      | 1,285      | 1,030     | 982       | 825       | 8,125 |



2022年3月現在

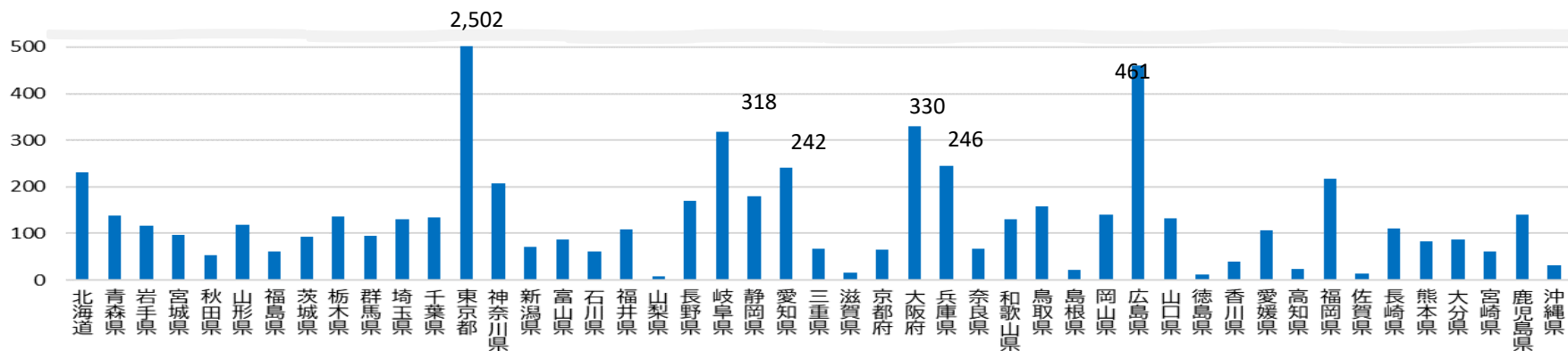
- レベル認定者の内訳に関してサービス種別でみると、介護老人福祉施設が最も多く（2,043名）、次いで介護老人保健施設（1,897名）、通所介護（1,029名）、訪問介護（942名）の順となっている。
- 施設サービスだけでなく、訪問系サービス、通所系サービス、小規模多機能など、在宅系サービスからもレベル認定者が多く出ており、制度の手法と評価基準は、サービス共通で活用されるものとなっている。
- 全都道府県においてレベル認定者が出ており、東京、広島、大阪、岐阜、兵庫、愛知の順となっている。このうち東京都のレベル認定者数が突出しており、累計で2,500名超となっている。

### ■ 介護サービス種類別 レベル認定者数（令和4年3月現在）

| 介護老人福祉施設 | 介護老人保健施設 | 通所介護  | 訪問介護 | 特定施設入居者生活介護 | 認知症対応型共同生活介護 | 小規模多機能型居宅介護 | 通所リハビリテーション | 短期入所生活介護 | 認知症対応型通所介護 | 介護医療院 | 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | 有料老人ホーム | 回復期リハビリテーション病棟 | 短期入所療養介護 | 夜間対応型訪問介護 | 地域密着型特定施設入居者生活介護 | 定期巡回・随時対応訪問介護看護 | 訪問入浴介護 | 看護小規模多機能型居宅介護 | 居宅介護支援事業所 | 法人本部 | その他 | 計     |
|----------|----------|-------|------|-------------|--------------|-------------|-------------|----------|------------|-------|----------------------|---------|----------------|----------|-----------|------------------|-----------------|--------|---------------|-----------|------|-----|-------|
| 2,043    | 1,897    | 1,029 | 942  | 481         | 420          | 225         | 210         | 143      | 135        | 109   | 109                  | 80      | 50             | 3        | 0         | 12               | 44              | 18     | 38            | 10        | 59   | 68  | 8,125 |

### ■ 都道府県別 レベル認定者の状況（令和4年3月）

|       | 北海道 | 青森県 | 岩手県 | 宮城県 | 秋田県 | 山形県 | 福島県 | 茨城県 | 栃木県 | 群馬県 | 埼玉県 | 千葉県 | 東京都   | 神奈川県 | 新潟県 | 富山県 | 石川県 | 福井県 | 山梨県 | 長野県 | 岐阜県 | 静岡県 | 愛知県 | 三重県 | 滋賀県 | 京都府 | 大阪府 | 兵庫県 | 奈良県 | 和歌山県 | 鳥取県 | 島根県 | 岡山県 | 広島県 | 山口県 | 徳島県 | 香川県 | 愛媛県 | 高知県 | 福岡県 | 佐賀県 | 長崎県 | 熊本県 | 大分県 | 宮崎県 | 鹿児島県 | 沖縄県 | 合計    |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-------|
| レベル4  | 25  | 21  | 7   | 21  | 0   | 22  | 4   | 13  | 12  | 17  | 20  | 22  | 200   | 19   | 7   | 4   | 8   | 41  | 0   | 17  | 73  | 23  | 69  | 12  | 1   | 21  | 63  | 51  | 13  | 14   | 10  | 1   | 10  | 73  | 56  | 2   | 2   | 18  | 1   | 32  | 2   | 5   | 17  | 22  | 12  | 17   | 1   | 1,101 |
| レベル3  | 45  | 13  | 42  | 33  | 1   | 16  | 18  | 17  | 34  | 13  | 48  | 30  | 433   | 24   | 28  | 25  | 14  | 48  | 0   | 40  | 65  | 25  | 38  | 14  | 5   | 7   | 100 | 58  | 14  | 43   | 74  | 4   | 27  | 82  | 21  | 2   | 5   | 19  | 2   | 61  | 0   | 14  | 28  | 33  | 6   | 33   | 6   | 1,708 |
| レベル2② | 54  | 55  | 36  | 20  | 21  | 37  | 17  | 18  | 32  | 23  | 39  | 41  | 690   | 73   | 22  | 37  | 24  | 14  | 4   | 49  | 98  | 52  | 52  | 22  | 6   | 15  | 78  | 65  | 19  | 48   | 15  | 10  | 50  | 144 | 20  | 4   | 25  | 36  | 9   | 56  | 3   | 39  | 20  | 16  | 22  | 49   | 15  | 2,294 |
| レベル2① | 108 | 46  | 32  | 22  | 31  | 42  | 22  | 45  | 58  | 41  | 24  | 40  | 1,177 | 87   | 14  | 22  | 16  | 6   | 5   | 63  | 81  | 78  | 83  | 18  | 4   | 23  | 87  | 71  | 21  | 25   | 59  | 7   | 53  | 158 | 35  | 5   | 8   | 33  | 11  | 69  | 9   | 53  | 18  | 16  | 21  | 40   | 9   | 2,996 |
| ユニット  | 0   | 3   | 0   | 1   | 0   | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 2   | 2     | 4    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 2   | 1   | 1   | 0   | 1   | 0   | 0   | 1   | 1   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 4   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0    | 26  |       |
| 計     | 232 | 138 | 117 | 97  | 53  | 118 | 61  | 93  | 136 | 94  | 131 | 135 | 2,502 | 207  | 71  | 88  | 62  | 109 | 9   | 171 | 318 | 179 | 242 | 67  | 16  | 66  | 329 | 246 | 67  | 130  | 158 | 22  | 140 | 461 | 132 | 13  | 40  | 107 | 23  | 218 | 14  | 111 | 83  | 87  | 61  | 140  | 31  | 8,125 |



- 全都道府県においてアセッサーが養成されており、計28,037名となっている。内訳をみると、最多は東京都であり、次いで大阪、神奈川、広島、北海道の順である（令和4年3月）。
- サービス種別でみると、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、通所介護、訪問介護の順となっており、レベル認定者実績と同様の傾向となっている。アセッサー養成に関しても、施設サービスだけでなく、訪問系サービス、通所系サービス、小規模多機能など、在宅系サービスにおいての養成も行われている。

## ■ 介護サービス種類別 アセッサー養成数（令和4年3月現在）

| 介護老人福祉施設   | 介護老人保健施設  | 通所介護          | 訪問介護           | 認知症対応型共同生活介護    | 特定施設入居者生活介護      | 小規模多機能型居宅介護 | 通所リハビリテーション | 有料老人ホーム   | 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | 短期入所生活介護 | 介護医療院  |
|------------|-----------|---------------|----------------|-----------------|------------------|-------------|-------------|-----------|----------------------|----------|--------|
| 7,063      | 5,391     | 3,497         | 3,309          | 1,625           | 1,466            | 756         | 570         | 566       | 498                  | 429      | 345    |
| 認知症対応型通所介護 | 居宅介護支援事業所 | 看護小規模多機能型居宅介護 | 回復期リハビリテーション病棟 | 定期巡回・随時対応訪問介護看護 | 地域密着型特定施設入居者生活介護 | 訪問入浴介護      | 短期入所療養介護    | 夜間対応型訪問介護 | その他                  | 法人本部     | 計      |
| 279        | 197       | 144           | 138            | 106             | 71               | 44          | 10          | 3         | 825                  | 705      | 28,037 |

## ■ 都道府県別 アセッサー養成数（令和4年3月）

| 北海道   | 青森県 | 岩手県   | 宮城県   | 秋田県 | 山形県  | 福島県 | 茨城県 | 栃木県 | 群馬県   | 埼玉県 | 千葉県 | 東京都   | 神奈川県  | 新潟県 | 富山県   | 石川県 | 福井県 | 山梨県 | 長野県 | 岐阜県 | 静岡県  | 愛知県   | 三重県    |
|-------|-----|-------|-------|-----|------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-------|-------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-------|--------|
| 1,090 | 429 | 383   | 491   | 122 | 273  | 470 | 512 | 385 | 443   | 868 | 962 | 4,454 | 1,336 | 383 | 301   | 240 | 251 | 93  | 672 | 963 | 621  | 1,056 | 320    |
| 滋賀県   | 京都府 | 大阪府   | 兵庫県   | 奈良県 | 和歌山県 | 鳥取県 | 島根県 | 岡山県 | 広島県   | 山口県 | 徳島県 | 香川県   | 愛媛県   | 高知県 | 福岡県   | 佐賀県 | 長崎県 | 熊本県 | 大分県 | 宮崎県 | 鹿児島県 | 沖縄県   | 合計     |
| 176   | 437 | 1,595 | 1,088 | 359 | 172  | 360 | 116 | 679 | 1,240 | 337 | 123 | 184   | 328   | 130 | 1,052 | 170 | 512 | 441 | 256 | 215 | 583  | 366   | 28,037 |

